雇用促進住宅鳥屋宿舎建築工事設計図

3型 多雪・寒冷　3DK　5階建

雇用促進事業団

平成4年度

株式会社浦建築研究所

図　面　リ　ス　ト

建　築

図面番号	図　面　名　称	
1－（1）	工事概要・建築工事特記仕様書（1）	
－（2）	建築工事特記仕様書（2）	
－（3）	建築工事特記仕様書（3）	
－（4）	建築工事特記仕様書（4）	
－（5）	建築工事特記仕様書（5）	
2－（1）	配置図	
2－（2）	案内図・敷地求積図	
3－（5）	30戸建　1階平面図・面積表	標準図
－（6）	30戸建　2～5階平面図・屋上階平面図	〃
4－（1）	管理事務所詳細図　1	〃
－（2）	管理事務所詳細図　2	〃
－（3）	倉庫詳細図	〃

構　造

図面番号	図　面　名　称	
0－（1）	杭仕様図	
－（2）	ボーリング柱伏図　1	
－（3）	ボーリング柱伏図　2	
1	杭伏図　柱リスト　基礎梁伏図	

図面番号	図　面　名　称	
（雑　家）1－（1）	集会所　平面図・立面図　（Iタイプ）	標準図
2－（1）	60戸用受水槽　ポンプ室詳細図	
3－（1）	自転車置場詳細図	標準図
4	プロパンボンベ室詳細図	標準図
（工作物）1	廃芥集積所案内板詳細図	
（外　構）1	門柱　車止め詳細図	
2－（1）	外構　駐車場詳細図　スロープ擁壁断面図	
－（2）	道路　街渠樹詳細図	
（植　栽）1	樹木・植栽配置図	
2	樹木・地被植栽工事詳細図	

雇用促進住宅鳥屋宿舎建築工事	
図　面　リ　ス　ト	
（株）補建築研究所	

工事仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 ・[illegible]郡[illegible]町字[illegible]丁目 [illegible]番地・[illegible]

2. 敷地面積 ・6165.0329 M2

3. 地域型 ・一般 ◎豪雪 ◎寒冷 ・北海道

4. 工事概要

A-1 1号棟 宿舎 30戸建 [illegible]付 鉄筋コンクリート造 5階建 延1867.17㎡ 新築1棟
（1型30戸・2型 戸・3型 戸）
（管理事務所 ◎住戸、事務所一体型 ・住戸、事務所分棟型 ・A型 ・B型）

A-2 2号棟 宿舎 30戸建 [illegible]付 鉄筋コンクリート造 5階建 延1871.49㎡ 新築1棟
（1型30戸・2型 戸・3型 戸）

A-3 3号棟 宿舎 戸建 付 鉄筋コンクリート造 5階建 延 ㎡ 新築1棟
（1型 戸・2型 戸・3型 戸）

A-4 4号棟 宿舎 戸建 付 鉄筋コンクリート造 5階建 延 ㎡ 新築1棟
（1型 戸・2型 戸・3型 戸）

B 受水槽・ポンプ室 （60戸用） 鉄筋コンクリート造 平屋建 延 49.0㎡ 新築1棟

C ◎自転車置場L=27（◎多雪型 ・一般寒冷型） 鉄骨造 平屋建 延 157.53㎡ 新築1棟
◎自転車置場L=19（◎多雪型 ・一般寒冷型） 鉄骨造 平屋建 延 105.31㎡ 新築1棟
・物置 補強コンクリートブロック造 平屋建 延 ㎡ 新築1棟

D プロパンボンベ室 （60戸用） 鉄筋コンクリート造 平屋建 延 18.96㎡ 新築1棟

E 工作物 新設一式
◎廃棄物置場 （・屋根なし ◎屋根付）
◎案内板
◎遊具施設 ◎砂場 ◎2連ブランコ ◎スクウェアージャングル
◎滑り台 ◎3連鉄棒 ・鉄棒ぶらんこ
・2連シーソー ・グローブジャングル

F 外構 新設一式
◎門、囲障
◎舗装

G 植栽 ◎本工事 ・別途（建設促進センター発注） 新植一式

H 集会所 （I II タイプ） 鉄筋コンクリート造 平屋建 延 78.45㎡ 新築1棟

II. 建築工事仕様

1 本工事に関し、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、建設促進事業団の工事共通仕様書（宿舎用）平成 2年版による。

2 特記仕様

1）項目は、番号に◎印のついたものを適用する。

2）特記事項は、◎印のついたものを適用する。

◎印のつかない場合は、＊印のついたものを適用する。

◎印と＊印のついた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、工事共通仕様書（宿舎用）の当該項目、当該図又は、当該表を示す。

編	章	項目	特記事項
建築編	1章 一般共通事項	①適用基準等	◎住宅・都市整備公団（ 支社）特別共通仕様書（平成3年版） 但し、指定資材、適合資材の部のみ ◎公共住宅標準詳細設計図集（平成2年版）
		②設計図	設計図書の優先順位は下記による。 (建1.1.2) 1 現場説明書、質疑応答書及び追加打正事項書 2 特記仕様書 3 設計図（標準図以外のもの） 4 設計図（標準図） 5 工事共通仕様書
		③配置図	標準図と配置図とにおいて内容が相違する場合は配置図による。 工事完成後、変更箇所を訂正した縮小原図（A3版）1部を雇用促進センターに提出する。
		④建築材料等	建築材料の製造所、製品及び施工業者等は特記されたもの、又は同等以上とする。但し、同等以上とする場合は、技術監員の承諾を受ける。
		⑤特別な材料の工法	工事共通仕様書（宿舎用）建築編及び本特記仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
		⑥廃生材の処理	解体材の処理 ＊構外搬出適切処理 (建1.2.7) ・引渡を受けるもの 工事施工上支障となる障害物が発生した時は、監督員に報告する。
		⑦工事写真	別記、工事写真撮影要領により撮影し、工事進歩に伴い、順序よく写真帳（B5版）に整理して、1部提出する。
		⑧完成写真	下記のものを写真帳に整理し監督員に提出する。 分類・規格 ｜ 撮影箇所数 ｜ 部数 ｜ 原版の大きさ（mm） カラー ｜ キャビネ版 ｜ 外部 6 内部 7 ｜ 2 ｜ 24×36以上 撮影者は建築写真の撮影について十分な経験を有するものとする。
		⑨完成図	工事が完成したときは、監督員の指示により完成図を作成し原図を三つ折れ図面ファイルに入れ監督員に提出する。原図の大きさは、設計図と同一のものとし鉛筆書きとする。 但し、第2原図とすることができる。 ＊種別 標準図以外の全ての図面 (建1.7.3)
		⑩監督員事務所	＊面積は下記を標準とする。 (建1.3.4) 2棟（60戸～80戸）用 65㎡ 1棟（30戸～40戸）用 35㎡ ＊仕上げ 名称 ｜ 仕上げその他 床 ｜ 板張り又はビニール床タイル張り 内壁・天井 ｜ 合板又は石こうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り 屋根 ｜ 着色鉄板又は鉄板張り調合ペイント塗り 休憩室 ｜ 畳敷き

＊備品など

1）監督員の指示を受け、電灯、給排水その他の設備を設け、必要に応じて下記の備品などを置く。

＊机、椅子、書棚、黒板、製図板、掛時計、寒暖計

＊ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、懐中電灯

＊加入電話の付属電話機（請負者が本電話機を設置する場合）

＊衣類ロッカー、冷凍冷蔵器、消火器、湯沸器、掃除具

2）監督員事務所の光・熱・水料及び加入電話機の使用料並びに便所の清掃料などは、請負者の負担とする。

編	章	項目	特記事項
建築編	1章 一般共通事項	①関連工事との取り合い	＊工事区分表 項目 ｜ ｜ ｜ 建築 ｜ 電気 ｜ 機械 鉄筋コンクリート部の貫通孔 ｜ 建築用 ｜ スリーブ、モルタル詰め、シーリング、補強 ｜ ○ ｜ ｜ 電気用 ｜ スリーブ、モルタル詰め、シーリング、補強 ｜ ○ ｜ ｜ ○ 機械用 ｜ スリーブ、モルタル詰め、シーリング、補強 ｜ ○ ｜ ｜ ○ 台所換気扇用梁貫通孔 ｜ ｜ スリーブ、モルタル詰め、シーリング、補強 ｜ ○ ｜ ｜ 床、壁、天井ボード切り込み ｜ 建築用 ｜ 穴明け、切込み、下地補強 ｜ ○ ｜ ｜ 電気用 ｜ 穴明け、切込み ｜ ｜ ○ ｜ ｜ 機械用 ｜ 下地補強 ｜ ○ ｜ ｜ 穴明け、切込み ｜ ｜ ｜ ○ 下地補強 ｜ ○ ｜ ｜ 配管、機器の支持ボルトインサート ｜ 建築用 ｜ ○ ｜ ｜ 電気用 ｜ ｜ ○ ｜ ｜ 機械用 ｜ ｜ ｜ ○ 心墨、逃げ墨、陸墨 ｜ ｜ ○ ｜ ｜ 水道メーター（遠隔指示）設備 ｜ ｜ 配管 ｜ ○ ｜ ｜ 配線、接続及び機械取付 ｜ ｜ ｜ ○ ユニットバス電灯設備 ｜ ｜ 器具（付属ケーブル付）取付 ｜ ○ ｜ ｜ ケーブル接続 ｜ ｜ ○ ｜ ｜ ユニットバス給水ガス配管 ｜ ｜ 壁穴明け及び補強 ｜ ○ ｜ ｜ 配管及び器具付け ｜ ｜ ｜ ○ 建築用排水桝（街路桝等） ｜ ｜ スリーブ ｜ ○ ｜ ｜ モルタル詰め（建築で配管したもの） ｜ ○ ｜ ｜ モルタル詰め（設備で配管したもの） ｜ ｜ ｜ ○
	2章 仮設工事	①敷地の確認	＊着工に先立ち敷地を実測し、その結果を監督員に報告する。
		②既設工作物等の確認	＊敷地周辺のよう壁及びのり面の状態を工事中計測等により確認し、その結果を監督員に報告する。
	3章 土工事	①埋め戻し及び盛土	・種別 ・山砂の類 ＊根切り土の中の良質土 (建3.2.3)
		②残土処分	＊構内指示の場所に敷き均し (建3.2.6) ・構外搬出適切処理 （運搬距離＿＿＿km以上）
	4章 地業工事	1.載荷試験	・平板載荷試験 ＿＿＿箇所 最大荷重 ＿＿＿t (調2.6.1) 試験厚さ 設計GL－＿＿＿m ・くい載荷試験（鉛直） 載荷方法 ＊A ・B (建4.5.1) サイクル数 ＊5 ・＿＿ 最大荷重 ＿＿＿t/本
		②支持層の確認	埋込み杭地業の試験掘削 ◎行う＿4＿本
		3.直接基礎	設計地耐力 ＿＿＿t/㎡
		④既製コンクリートぐい及び鋼ぐい地業	くい、杭類 ｜ ・遠心力鉄筋コンクリートくい ｜ ・プレストレストコンクリートくい ｜ ◎高強度プレストレストコンクリートくい ｜ ・鋼管ぐい ｜ ・H形鋼ぐい ｜ ・外殻鋼管付コンクリートくい 規格材質など ｜ JIS規格品 ＊1種 ・2種 ｜ JIS規格品 ＊A種 ｜ ＊JIS規格品 ・認定品 ｜ JIS規格品 ・ ｜ JIS規格品 ・ ｜ ＊認定品 ・ 長さ m 上杖 ｜ ・ 種 ｜ ・D種 中杖 ｜ ・ 種 ｜ ・A種 下杖 ｜ ・ 種 ｜ ・A種ST 断面寸法（mm） ｜ ｜ 500-500 350 ｜ ｜ ｜ 鋼管厚さ 長期設計支持力（t／本） ｜ ｜ 120 45 ｜ ｜ ｜ 継手及び継手形状 ｜ ＊なし ・あり ＊溶接式 ｜ ＊あり ・なし ｜ ＊あり ・なし ｜ ＊なし ・あり ＊溶接式 先端部 ｜ ＊閉そく形 ｜ ｜ ＊閉そく平たん形 ｜ ＊開放形 ｜ ｜ ＊閉そく形 先端形状 ｜ ＊ペンシル形 ・ ｜ ＊平たん形 ・回形 ・ペンシル形 ｜ ＊4.2.1図及び4.2.1表による ｜ ｜ くいの施工法 ＊一般工法（下記による） ◎認定工法＿＿＿＿ ・打撃工法 くい打ち機 ＊ディーゼルハンマー ・＿＿＿ ・掘削工法 ・打撃併用工法 プレボーリングの掘削深さ及び径 GL－＿＿＿m 径 ＿＿＿mmφ くい打ち機 ＊ディーゼルハンマー ・ ・セメントミルク注入工法 試験掘削 ＊最初の1本 ・＿＿＿本 打ち止め処理 ＊打撃（軽打） ・中掘（先端拡大根固め）工法 ・打撃 ＊ディーゼルハンマー ・ ・セメントによる根固め ・セメントミルク噴出かくはん方式 ・コンクリート打設方式
		5.くい打ち試験	くいの径 ｜ くいの種別 ｜ 長さ ｜ 本数 上ぐい 種 本ぐい＋ m 中ぐい 種 (下ぐい＋ m) 下ぐい 種
		⑥くい頭処理	・A種の場合 共通仕様書(建4.2.9)による他、圧砕方式とする場合は圧砕に先立ち下記1）の工程を行う。 ・B,C種の場合 下記の要領による他、監督員の認める工法とする。 1）くい切断位置にバンドを取りつけた後、くい全周にダイヤモンドカッター又は手砕りで筋溝を入れる。 2）油圧シリンダーの刃物は、円錐形の刃物を用いる。 3）くい締めつけバンドは、仕上げ完了時まで取りつけて置く。 4）軸筋と軸筋の間に穴をあける。 5）コンクリートの破砕及び仕上げは、片手ハンマーで行い、軸筋は叩かない。 ・鋼杭、SC杭の場合 所定の高さで溶断する。
		⑦くいの施工	くいを納入するメーカーは、施工管理者を置くものとする。 くいの施工業者は、施工管理者の指導により施工する。
		⑧施工精度	＊建4.2.10による
		⑨支持力の算定	＊建4.2.6による

平成4年度

雇用促進住宅3型多雪・寒冷3DK標準設計図	図面番号 建築 1(1)
図面 建築工事工事概要及び特記仕様書ーー1	
名称 縮尺	製作 年 月
雇用促進事業団 技術室	室長 ｜ 主技術任設 ｜ 技術設

型枠工事	現場所打ちコンクリートくい地業	鉄筋の種別	＊A種　・B種　(建4.4.1表)
		コンクリートの種別	・A種　・B種　(建4.4.1表)
		施工法	・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法
	①地コンクリート地業	コンクリートの種別	＊建5.12.1表のB種
		厚さ	＊ 50 mm ・____mm
コンクリート工事	①設計基準強度	○普通コンクリート (建5.1.3)	

設計基準強度 (kg/cm²)	適用箇所
210	・倉庫、管理事務所、倉庫、プロパンボンベ室構造体 ・浴室室、揚水機ポンプ室構造体（土間含む） ・多雪型自転車置場の基礎
180	・塀の柱、コンクリート舗装（進入口部） ・物置、一般寒冷型自転車置場の基礎
150	・上記以外の土間、非常給水槽、工作物基礎 ・外構、柵、側溝蓋　・コンクリート舗装 ・無筋コンクリート

・軽量コンクリート

設計基準強度 (kg/cm²)	適用箇所
210	
180	

	②レディーミクストコンクリート	＊JIS表示許可コンクリートの標準品 (建5.1.1)
	③セメントの種類	＊普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (建5.2.1) 普通ポルトランドセメント（低アルカリ形）又は混合セメントのB種もしくはC種（シリカセメントを除く）
	④混和材料	＊混和剤　＊JISA6204によるAE減、A E減水剤標準型　・_____ (建5.2.4) ・混和材　＊フライアッシュ　・_____
	⑤普通コンクリートの場合	・所要空気量 (%)　・一般地域　・4　・____ (建5.3.2表) ・多雪、寒冷、北海道地域　・4.5　・____
	6.軽量コンクリートの場合	

種別	所要気乾単位容積重量 (t/m³)	適用箇所

・所要空気量 (%)　・一般地域　・5
・多雪、寒冷、北海道地域　・5.5　・____

	⑦コンクリート面の仕上げ	(建5.13.1表)

種別	施工箇所
＊2種	・パルコムーの仕上げ
・3種	・屋根防水下地　・土間の仕上げ

	⑧コンクリートの耐久性確保	＊コンクリート中に含まれる塩化物の総量　0.30kg/m³以下 (建5.1.2) ＊アルカリ骨材反応の抑制対策 (建5.1.2.3)
	⑨骨材の塩分含有量等	・塩分含有量 (%)　(建5.2.2) ＊0.04以下　・0.1以下　・_____ ・0.04%wtを超える場合の結果_____

型枠工事	①型枠及びせき板	＊せき板の種別 (建6.2.1)

種別	用途	施工箇所
・A種	・コンクリート打放し化粧仕上げ	
・B種	・コンクリート打放しのうえ塗装等の仕上げ	
・C種		

鉄筋工事	①鉄筋の種別	(建7.1.1表)

	種別	種類	径 (mm)
異形鉄筋	＊A種	＊SD295A	＊D16以下
		＊SD345	＊D19以上
		・SD390	
	・B種		

	②溶接金網	・JIS規格品　＊JISマーク表示品 (建7.1.3)
	③鉄筋の継手	

	径 (mm)
＊重ね継手	＊D16以下
＊ガス圧接	＊D19以上

	4.耐久上不利な箇所などの鉄筋のかぶり厚	(建7.2.2)

施工箇所など	最小かぶり厚さ (mm)
・塩分含有量が0.1 %wtを超える細骨材を使用する場合	＊7.2.1表の値＋10（床版を除く）

	⑤帯筋	○形の種別　＊H形　・W－I形　(建7.2.1.12) ・W－II形
	⑥梁の開口補強	◎構造記録基準図による。 (付則2.14) ○鉄製補強材 製造所　東京ガス圧接工（スパーレン） テイエム技研　（ウエブレン）
鉄骨工事	①鋼材	(建7.2.1)

材質	規格等	使用箇所
○SS400	○ JIS規格品	○自転車置場
○SSC400	○ JIS規格品	○廃棄物保所
○STKR400	○ JIS規格品	○プロパンボンベ室
・SR235	・ JIS規格品	
○STK400	○ JIS規格品	

	②高力ボルト	・JISの高力ボルト　（セットの種類　＊2種(F10T)　・　）
		＊特殊高力ボルト　（セットの種類　＊　(S10T)　・　）
		建設省告示第1795号の規定に基づき認定されたトルシア形高力ボルトとする。
		・溶融亜鉛メッキ高力ボルト　（セットの種類　＊1種(F8T)Aに準ずる　・　）
		建築基準法第38条の規定に基づき認定された溶融亜鉛メッキ高力ボルトとする。
	3.スタッド溶接用材料	＊JISB1198による頭付きスタッド
	④ターンバックル	JISA5540による建築用ターンバックル (建8.2.7) ターンバックル胴　＊胴付式　・パイプ式 ターンバックルボルト　＊羽子板ボルト　・アイボルト　・両ねじボルト　・
	5.溶接部の検査	(建8.5.9)

試験の種別	試験箇所	試験数	備考
・超音波探傷試験		抜取率 ＊8.5.9(a)ⅠⅡによる	抜取方法 ＊8.5.9(a)ⅠⅡによる
・放射線試験			
・マクロ試験			

	⑥鉄面の素地ごしらえ	＊建16.2.2表による
	⑦さび止め塗料	＊建16.4.2表による　・JIS-K-5672～5675
	8.耐火被覆	・乾式工法によるロックウール吹付け（建築基準法に基づく認定を受けた吹付材） ・成形耐火被覆材張り（建築基準法に基づく認定を受けた耐火板） ・耐火吹付け及び耐火板張りには，見えやすい位置に2箇所以上「耐火構造の表示方法」による指定マークを付ける。 所要性能　・30分耐火　・1時間耐火　・_____
	⑨アンカーボルトの保持及び埋込み工法	種別　・A種　＊B種　・C種 (建8.7.2)
	⑩上端ならし仕上げ	種別　・A種　＊B種 (建8.7.4) 鉄骨柱下無収縮モルタルの製造所 KABC商会（ノンシュリンクラ（トクラット））　KK小野田（プレコーロックス） 電気化学工業KK（デンカプレパコンTYP-1）　日曹マスタービルダーズKK（マスターフロー870クラット）
	①鉄骨の製作工場	○監督員の承認する製作工場 ・「溶接作業判定基準」に適合する製作を行う製作工場又は建設省告示第1103号に基づき建設大臣が認定した製作工場のうち，下記の条件を満足する製作工場 契約電力(kW)　以上，建築士（ ）級　名以上，WES8103（ 級）　名以上 NDIUT（ 級）　名以上，超音波探傷器　台以上，万能試験機(50t以上)　台以上
コンクリートブロック工事	①空洞コンクリートブロックの種別	(建9.1.2) 種別　＊JIS規格品による　○C種防水　○受水槽ポンプ室　・ ・物置 ○C種　○上記以外の箇所 厚さ　○100　・120　○150　・
	②防水ブロックの化粧目地用防水剤	防水剤の製造所 15章1による
	③ブロックぺい	基礎に用いるコンクリートの設計基準強度 (kg/cm²) (建9.1.5.2) ＊180
	④鉄筋の種類	異形鉄筋　＊A種　・B種 (建7.1.1表)
	5.れんがの種類	普通れんが　＊2種 (建9.3.1)
	6.ALCパネル種類	＊JIS規格品 (建9.4.1)

防水工事	①アスファルト防水	屋根防水の種別	一般地域　＊露出　・絶縁工法－1 (建10.2.3表) ・絶縁工法－2 (建10.2.4表) ＊断熱工法 (K-1) 多雪・寒冷地域　＊保護　・密着工法 (建10.2.1表) ・絶縁工法 (建10.2.2表) ＊断熱工法 (K-2)

屋根露出断熱防水層

種別	K－1	
工程	材料，工法	量／m²
1	アスファルトプライマ塗り	0.3 ℓ
2	硬質ウレタンフォーム アスファルト流し張り	1.5 kg
3	アスファルト流し張り	1.0 kg
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0 kg
5	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0 kg
6	着色砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0 kg

(注) 立上がり及び立下がり部は，工程2を省略する。

屋根保護断熱防水層

種別	K－2	
工程	材料，工法	量／m²
1	アスファルトプライマ塗り	0.3 ℓ
2	穴あきアスファルトルーフィング （ストレッチルーフィング） アスファルト流し張り	(1.0 kg)
3	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.2 kg (1.0 kg)
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0 kg
5	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0 kg
6	ポリスエチレンボード アスファルトはけ塗り	1.0 kg
7	アスファルトフェルト アスファルト紙付け張り	0.2 kg

(注) 立上がり及び立下がり部は，工程2，及び工程3を（ ）内とし，工程6及び工程7は省略する。

アスファルトの種類　一般地域　＊3種
多雪・寒冷地域　＊4種 (建10.2.3)
アスファルトルーフィング　＊1600
・着色砂付ストレッチルーフィング (建10.2.3)
＊JISA6022の800に着色した製品または施工工程法カラートップコート処理を行う。
製造所　ルーフィング類及びアスファルトについてはJIS規格品とする。
但し，一団地は同一メーカーの材料とする。

新旧JIS対照表

新JIS		旧JIS	
JIS A 6005	アスファルトルーフィングフェルト アスファルトフェルト650 アスファルトルーフィング1500	JIS A 6005 JIS A 6006	アスファルトフェルト30kg品 アスファルトルーフィング35kg
JIS A 6022	ストレッチアスファルトルーフィングフェルト ストレッチルーフィング1000 吹付ストレッチルーフィング800	JIS A 6022	ストレッチルーフィング 1類 ストレッチルーフィング 2類 吹付ストレッチルーフィング
JIS A 6023	AALAGアスファルトルーフィングフェルト 吹付AALAGルーフィング2500	JIS A 6023	AALAGアスファルトルーフィング 1類 AALAGアスファルトルーフィング 2類

○断熱防水用硬質ウレタンフォーム
JISA9514（硬質ウレタンフォーム保温材）による2類2号
厚さ　＊25mm　・_____
製造所　アキレス㈱（アキレスボードF GP）　倉敷紡績㈱（クランボードF F1）
田島ルーフィング㈱（ポルフォーム）　日新紡績㈱（ウルエコボード）
ブリヂストン㈱（スポーライトボードF SCM）

平成4年度

雇用促進住宅3型多雪・寒冷3DK標準設計図		図面番号 建築 1(2)
図面　建築工事特記仕様書 ----------2		製作 年 月
名称　縮尺		
雇用促進事業団　技術室	室長 / 主技術員 / 技術員	

⑥屋上からの防水層外 ⑦防水層外ルコンクリート

◎屋外防水用フォームポリスチレンボード　厚さ　＊30㎜　・＿＿＿＿

JISA9511（ポリスチレンフォーム保温材）による3類（押出法ポリスチレンフォーム）3種

厚さ　＊30㎜　・＿＿＿＿

製造所　旭硝化学工業㈱（ｻﾝﾃｯｸｽ㈱）　積水化成品工業㈱（ｴｽﾁﾚｯｸ㈱）

タキロン工業（ﾀｷﾛﾝ㈱）　日本ステレンペーパー㈱（ﾆｯﾎﾟﾝ㈱）

施工業者　ゴムアスファルト防水工事業協同組合　全日アスファルト防水工事業協同組合

全日本特殊アスファルト工事業協同組合　東京アスファルト防水工事業協同組合

東西アスファルト工事業協同組合　日本アスファルト防水工事業協同組合

の会員とする。

施工業　アスファルト防水の完了後，監督員の指示する位置に取りつける。

保証書　アスファルト防水の保証期間は10年とし，建築工事請負業者，防水施工業者及び所属する団体との連帯保証書を監督員に提出する。

＊コンクリート　建5.12.1表の日種

・セルタルれんが平仕舞

＊建5.12.1表による

共仕による他，目地板は同じの製品を使用して良い。但し，注入目地材は省けない。（建10.2.5）

製造所　タイキイ産工㈱（ﾀｲｷｲｻﾝｺｳ㈱ TN-25・TN-625）　千代田繊材㈱（ﾁﾖﾀｾﾝｻﾞｲ㈱ SP-25）

日綿産工㈱（ﾆｯﾒﾝｻﾝｺｳ㈱ CR-F・R-5）

5.合成高分子ルーフィング防水

・屋根防水　（建10.4.1）

種類　＊加硫ゴム系　・＿＿＿＿

厚さ　＊1.2 ㎜　・＿＿＿＿

張り掛の重ね　（建10.4.1表）

保護塗料　グレー，シルバーを縞（カラー仕上げとする

製造所　旭硝合成化学㈱（ｻﾝｰﾚｯｸｽ）　三菱ベルト㈱（ﾐﾂﾋﾞｼｰﾙｰﾌｨﾝｸﾞ㈱）

東洋ゴム工業㈱（ﾄｰﾖｰｰﾚｰﾄ）

施工業者　・シート防水工事業協同組合の加盟業者の責任施工とする。

施工業　工事完了後，監督員の指示する位置に取りつける。

保証書　シート防水の保証期間は10年とし，建築工事請負業者及び防水施工業者との連帯保証書を監督員に提出する。

⑧塗膜防水

◎塗膜防水

種類　＊ウレタンゴム系（カラーウレタン）

・＿＿＿＿

厚さ　＊2.0 ㎜　・＿＿＿＿

補強クロス　＊1層　・＿＿＿＿

製造所　㈱ＡＪＩウレタン（ＡＪＩウレタン）　綜研合成化学㈱（ｿｳｹﾝｺｳｶｶﾞｸ）

大日本インキ化学工業㈱（ディックウレタンカラー）

ＨＩＤＥＫＩＳＨＩＴＡＳ（ﾋﾃﾞｷｼﾀｽ）　阪上塗装材工業㈱（ﾊﾝｼﾞｮｳ）

保証書　塗膜防水の保証期間は10年とし，建築工事請負業者及び防水工事施工業者との連帯保証書を監督員に提出する。

・塗膜防水

種類　＊ウレタンゴム系

・＿＿＿＿

厚さ　＊1.2 ㎜　・＿＿＿＿

補強クロス　＊なし　・＿＿＿＿

製造所　塗膜防水に同じ

・施工業者　上記製造所又はその指定業者の責任施工とする

⑨シーリング材料　（建15.5.1）

種別	材料	施工箇所
・A 種	シリコンシーリング材（1成分型）高モジュラス形	・特記箇所
・B 種		
◎C 種	ポリサルファイド	◎特記外全て
・D 種		
・E 種	油性コーキング材	

11章 石工事

1.張石張り

仕上げの種類　・＿＿＿＿

種石　＊花崗岩　・＿＿＿＿

③テラゾーブロック張　（建11.2.1）

種石　＊大理石　・＿＿＿＿

3.敷石及び張張石　（建11.3.1）

品質　＊2等品　・＿＿＿＿

仕上げの種類　＊粗磨き　・＿＿＿＿

4.テラゾータイル　（建11.4.1）

種類　・大理石　・花崗岩類

形状寸法　・300×300　・400×400

12章 タイル工事

①陶磁器質タイル張り

タイルの種類

施工箇所	形状寸法	色じ 磁器	色じ 陶器	色じ ﾓｻﾞｲｸ	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 注文	備考
○壁	100 角		○		○			○	○		
○床	25 角	○				○		○	○		
○腰巾	150×60	○				○	○		○		

壁タイル張りの施工　（建12.2.4）

ボード下地　＊接着剤張り　・＿＿＿＿

コンクリート下地　＊縦上げ張り　・＿＿＿＿

壁タイル張用接着剤の製品

ｱｲｶﾞｰ・ｱｲﾎﾞﾝ E-5901，ｱｲﾎﾞﾝﾄﾞ T-3，ｵｰﾄﾎﾞﾝﾄﾞ 4500，ｺﾓﾀｯｸﾀﾝ EA-4，EYﾎﾞﾝﾄﾞ KY-500，ﾎﾞﾝﾄﾞ EX 370

ﾎﾞﾝﾄﾞ SX 300，ﾓﾘﾀﾞﾝ EP-410-DB-353，DMﾎﾞﾝﾄﾞ EP，ﾀｲｹﾎﾞﾝﾄﾞ E(TE-1)，ｺﾝｸﾘｯｸﾌﾞﾝﾄﾞ 1180

ﾀｲﾙﾎﾞﾝﾄﾞ EP-330，ﾀｲﾙﾎﾞﾝﾄﾞ EPL-310，JSBﾎﾞﾝﾄﾞ EP，FMﾎﾞﾝﾄﾞ BE-633，ｽﾄﾗｯﾄﾎﾞﾝﾄﾞ E-900

ﾎﾞﾝﾄﾞ，ｴﾆｰﾀｲﾙｾｯﾄﾎﾞﾝﾄﾞ，ﾆｯﾀﾝ Y-1700

13章 木工事

①木材

木材の含水率　（建13.1.3）

・代用樹種を適用しない箇所　＿＿＿＿

＿＿＿＿

製木と指定してあるものは，けやき・かし・なら・しおじ・にれ・ぶな・たも等で「製材の日本農林規格（ＪＡＳ）」による広葉樹1等品とする。

②表面仕上げの程度　（建13.1.1表）

3.防蟻処理

薬剤・木材の防蟻処理を行う場合に使用する防腐・防蟻剤は，如日本しろあり対策協会又は，所轄厳若しくは市認定の予防剤又は，これと同等以上の効力を有するもの。

工法・塗布，吹付け，浸漬に使用する薬剤の量は，木材及び合板の表面積1㎡につき 300㎖ を標準とする。

・処理むらなどを生じる事のないよう，上記薬剤の稀釈量で2回処理以上とする。

・木材の木口，仕口，継手の接合箇所，亀裂部分，コンクリート及び石などに接する部分は特に入念な処理を行う。

・防蟻処理材を使用する場合は，製材の日本農林規格による防腐・防ぎ1種処理材又は防腐・防ぎ2種処理材の規格品又はＪＩＳＡ９１０８（土台用加圧式防蟻処理木材）の規格品とする。

施工箇所　1階床の大引，根太及び松板の裏面

③防蟻処理

施工箇所　建13.1.5による他，浴室，便所廻り軸組部は全面（塗布剤の塗布部分は除く）とする。

加圧式防蟻処理材を使用する場合は前項に同じ。　（建13.1.5表）

5.縦羽目

＊型住戸に用いる杉木の羽目は製木とする。

14章 金属工事（屋根及びとい）

1.瓦尺亜鉛めっき鋼板ぶき　（建14.3.2）

屋根ふき形式	材種	板厚(㎜) 一般部分	板厚(㎜) 谷部分	下ぶき
・かわら棒ぶき（心木なし）	＊着色亜鉛めっき鋼板（片面）	＊0.4	＊0.4	＊アスファルトルーフィング 22kg／21㎡
・平ぶき	・亜鉛めっき鋼板	・	・	・

②折版ぶき

施工箇所	材種	板厚(㎜)	種類（ＪＩＳ区分） 山高及び山ピッチ	緊結方法	防水性能	ボルト
・多雪型白石車置場	・着色亜鉛鉄板（両面）	・0.8	・1730	・重ね方式	・水密形	・SUS 304 径 10㎜
・その他	・着色亜鉛鉄板（両面）	・0.6	・0920	・重ね方式	・一般形	・SUS 304 径 8㎜

③波形石綿スレートぶき

材料　ＪＩＳＡ５４０３（石綿スレート）の波形石綿スレートの規格品とする。

種類　＊大波　・中波

けらば及び棟には，役物を使用する。

留付け金物その他は，次表による。

名称	受材が鋼材の場合	受材が木材の場合
留付け金物	亜鉛めっきボルト 呼び径6㎜	亜鉛めっきスレート用くぎ径5㎜（受材に打ち込める長さが40㎜以上）又はねじくぎ径5㎜（受材に打ち込める長さが25㎜以上）
座金	中波	厚さ 1.6㎜以上の亜鉛めっき鉄製。
伺い物	大波　径30㎜	厚さ5㎜以上のアスファルトを浸透した牛毛フェルト製。
あおり止め	19×3（㎜）程度の平鋼とし，端手は60㎜以上折曲げて重ね合せ，径4㎜程度のボルト又はびょう2本締めとし，施錠を行う。	

工法　スレートの重ねなどは，次表による。

区分	重ね 横（山）	重ね 縦（㎜）	留付け金物の本数（受材当たり板幅1枚につき）
中波	1.5	150 程度	＊2
大波			・強風地域 …… 3

・大雪地域におけるボルト締め工法

④角波鉄板ぶき

材種　着色亜鉛鉄板（両面）　厚 0.5㎜

製造所　三晃金属工業㈱（ﾀｲｺｳﾞﾝｸﾞ-S）　㈱淀川製鋼所（ﾖﾄｶﾞﾜｽﾁｰﾙ）　又は同等品

⑤とい　（建14.4.1）

材種　◎配管用鋼管

◎硬質塩化ビニル管（カラー管）

とい受金物　＊ステンレス

・亜鉛めっき品

防錆　・行う　（建14.4.4表）

◎行わない

排水口　◎有　（建14.4.7）

◎無

⑥ルーフドレイン等

製造所　伊藤鉄工㈱　カネソウ㈱　第一機材㈱　長谷川鉄工所㈱　㈱エムラ

中部工機㈱　福西鉄物㈱　オオタケファンドリー㈱

14章 金属工事

①鉄の亜鉛めっき　（建14.2.2表～14.2.4表）

施工箇所	亜鉛めっき鋼別	付着量の種別
・	・A 鋼	・A鋼　＊B鋼
◎屋外金物の鋼で特記したもの	◎ B 鋼	・A鋼　◎B鋼　・C鋼
◎扉建具 ◎階段の鋼で特記したもの	◎ C 鋼	最小付着量 ◎120g／㎡（両面）

試験　＊行わない　・行う　（建14.2.1-5）

②軽量鉄骨天井下地　野縁などの種類　（建14.6.1表）

屋内　＊19型　・25型

屋外　・19型　＊25型

3.軽量鉄骨壁下地　スタッド，ランナーなどの種類　（建14.5.1表）

・65型　・90型

④手すり及びタラップ

手すり　＊ステンレス　SUS304

・＿＿＿＿

タラップ　＊ステンレス　SUS304　（建14.7.2）

・＿＿＿＿

⑤バルコニー手摺

Ｂｌ認定部品手すりユニット腰下用1型でアルミ合金製パネル型とし，バリエーション等は下記による。

笠木；一段笠木とし形状は図示による

パネル材質；アルミ＋~~石綿スレート~~（ポリカーボネート）＋アルミ複合板（厚5.6以上）

アンカー；3型プレート溶接タイプ変形とし図示による

製造所　住友軽金属工業㈱（ｽﾐｹﾝ2301-AP）　立山アルミニウム工業㈱（立山ALT-B2K型）

㈱ツボキ（TBL-80）　トーヨーサッシ㈱（ﾄｰﾖｰｻｯｼ㈱ BL-300-1）

ナカ工業㈱（ﾅｶ㈱格子約（ﾊﾟﾝﾁﾛｰﾙ）NVA-BPM1）　西日本金属工業㈱（ﾆｼﾆﾎﾝ BR-31）

ＹＫＫアーキテクチュラルプロダクツ㈱（BTHⅡ型）

⑥窓手摺

図示により，アルミ合金製でバルコニー手摺の製造所の製品とする。

⑦戸袋横板

バルコニー戸袋横板は，4周枠をアルミ押出成形材とし，石綿セメント平板厚5㎜を嵌め込む。

・図示によること

⑧アルミニウム笠木

本体　＊ＪＩＳＨ４１００（アルミニウム押出形材）の規格品

・ＪＩＳＨ４１００（アルミニウム合金の板）の規格品

・屋上に使用するものは，避雷導体として使用できるものとする。

アンカー用ボルト及びビス　ステンレス製（ＳＵＳ３０４）

表面処理の種別　＊下表によるＡ－１種又はＢ－１種

・下表によるＡ－２種又はＢ－２種

種別	表面処理	皮膜厚さ（μm） 耐食性の種類 Ｌ２	皮膜厚さ（μm） 耐食性の種類 ＫＬ１	皮膜厚さ（μm） 透明合成樹脂塗料
Ａ－１種	無着色陽極酸化皮膜	１４以上	９以上	――
Ａ－２種	電解着色による陽極酸化皮膜	１４以上	９以上	――
Ｂ－１種	無着色陽極酸化皮膜の上に塗装	９以上	６以上	７以上
Ｂ－２種	電解着色による陽極酸化皮膜の上に塗装	９以上	６以上	７以上

工法　等圧開放機構，ノンシール工法

⑨ステンレス

種類＊ＳＵＳ３０４

表面仕上＊ＨＬまたは№２Ｂ

15章 左官工事

①防水モルタル塗り

◎防水剤の製造所

光洋化成建設㈱（ｺｳﾖｳｶｾｲｹﾝｾﾂ㈱）　シプカー建設工業㈱（ｼﾌｶｰ㈱）

セントラル工業㈱（ｾﾝﾄﾗﾙｺｳｷｮｳ㈱防水剤）　㈱東京ポース工業社（ﾎｰｽ㈱防水剤）

東洋理研工業㈱（ﾄｳﾖｳﾘｹﾝ防水剤No.15）　㈱日本セメント防水剤製造所（ﾆｯｾｲﾄﾎﾞｳｽｲｻﾞｲﾄﾞ㈱）

マダナ工業㈱（ﾏﾀﾞﾅ㈱ 2号）　㈱マノール（ﾏﾉｰﾙ㈱防水剤）

②反応硬化形合成樹脂エマルション系床用塗材（ＲＥ）

1　材料

JIS A 6910の規格塗材ＲＥでJISマーク表示品とし，上塗り材はアクリルウレタン樹脂塗料（2液形）とする。

2　工程

仕上げの工程，材料，調合，所要量，塗り回数及び間隔時間の標準は，下表による凸部処理模様仕上げとする。

平成４年度

雇用促進住宅3型多雪・寒冷3DK標準設計図	図面番号 建築 1（3）
図面　建築工事特記仕様書 ----------3	
名称　縮尺	製作年月
雇用促進事業団　技術室	室長 / 主任技術員 / 技術員

表. 後塗塗材RE凸部処理標準仕上げの工程

工程		材料	割合（重量比）	所要量 0kg/㎡	塗り回数	間隔時間（h） 工程内	工程間	最終養生
1	下塗り	後塗塗材用下塗り材	100	0.1~0.3	1	—	16以上 72以内	—
		専用シンナー又は水	製造業者の指定による	—				
2	主材塗り 基層塗り	後塗塗材用主材	100	0.7~1.2	1	—	16以上	—
		水	製造業者の指定による	—				
3	主材塗り 模様塗り	後塗塗材用主材	100	0.8~1.3	1	—	24以上 72以内（凸部処理の場合は1以内）	—
		水	製造業者の指定による	—				
4	凸部処理	（ローラー又はこて押え）			—	—	24以上 72以内	—
5	上塗り	後塗塗材用上塗り材	100	0.25~0.35	2	5以上	—	24以上
		専用シンナー又は水	製造業者の指定による	—				

3 工法

(1)下地処理は、建15.4.2による。

(2)材料の混合わせは、下記による。

(イ) 下塗り材は、指定量の専用シンナー又は水で均一に薄める。

(ロ) 主材は、基材と硬化剤を指定の割合で混合し、定められた模様に対する粘度に調整するよう水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合し、可使時間内に使用する。

(ハ) 主材で基剤及び硬化剤にセメントなどを添加する場合は、製造業者の指定による。

(ニ) 上塗り材は、基材と硬化剤の混合割合は製造業者の指定により、1回の練り混ぜ量は、可使時間内に使い切れる量とする。

(3)下塗りは、下地の吸込みのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように塗り付ける。

(4)主材塗りは、下記による。

(イ) 吹付けかローラー塗りかは、あらかじめ決定した見本による。

(ロ) 基層塗りは、主材を下地全面にむらなく塗り付ける。

(ハ) 模様塗りは、基層塗りで得られた主材層の上に所定の模様を付与するために行う。

(ニ) 凸部処理をこて又はローラーのいずれで行うかは、見本による。

(ホ) こて又はローラー押えは、見本と同様の模様になるように、主材塗り後、1時間以内の適当な時間を選んで行う。

(5)上塗りは、下記による。

(イ) 上塗り材の塗り回数は、2回塗りとし、色むら、だれ、光沢むらのないように均一に塗り付ける。

(ロ) 上塗りをはけ・ローラー又はスプレーガンのいずれで行うかは、製造業者の指定による。

4 保証等

下記による責任施工とし、保証期間は5年とする。建築建築業者及び吹付施工会社の連帯保証とし、保証書を提出する。

ESUピーシー協会（ウォールコートBR） エスケー化研㈱（レナキャスト）
関水化学工業㈱（キクスイタイル・エポ） 恒和化学㈱（ダイヤエポンB-T-U仕上）
神東塗料㈱（エポタイルBR）

3.ギッタール吹付

被塗	色彩	厚さ（mm）
・一般用	・着色	・10 ・15
・	・原色	・20 ・

16章 塗装工事

①鉄面の素地ごしらえ (建16.2.2)

②合成樹脂調合ペイント塗り 亜鉛めっき面の下塗り (建16.4.3)

③クリヤラッカー塗り ・A種 ＊B種 (建16.5.1)

④溶剤形ビニル系塗料塗り 塩化ビニル樹脂エナメル ＊1種 ・＿＿＿＿

⑤有光沢合成樹脂エマルションペイント塗 製造所 関西ペイント㈱（カンペG.P） 神東塗料㈱（シントーG.P）
大日本塗料㈱（ダイニットG.P） 東亜ペイント㈱（トーアG.P）
日本ペイント㈱（ニッペG.P） 鈴鹿塗料㈱（スズカG.P）

⑥塗装業者 ＊日本塗装工業会の会員とする。

17章 建具・ガラス工事

①アルミニウム合金製建具 外部に面する建具

＊BL部品

	◎A型	⊙B型	・C型（防音）
耐風圧（kg/㎡）	＊280 ・200	＊280 ・200	＊280 ・200
気密性による等級	＊15	＊8	＊8 ・2
水密性による等級	＊35	＊35	＊35 ・50

＊BL部品以外の建具

類別	・A型	・＊B型
耐風圧（kg/㎡）		＊280
気密性による等級	・8 ・2 ・	＊8 ・2 ・
水密性による等級	・25 ・35 ・50	・25 ＊35 ・50
枠の見込み寸法（mm）		＊70 又は 80 ・100
表面処理		＊陽極酸化被膜9μの上クリヤー塗装7μ

②網戸 使用方法による区分 ＊G_3(1) ・ (建17.2.2)
網の材種 ＊ステンレス製 ・
メッシュ ・16 ＊18

③鋼製建具 BL部品以外の建具
鋼板の厚さ

区分		使用箇所	厚さ
出入口	枠類	丁番及び枠付きのピボットヒンジでつる開き戸の場合で、建具の高さが1.8mを超えるもの	2.3
		上記以外のもの	1.6
		ステンレス製くつずり	2.0
	扉	かまち、鏡板、表面板	実厚1.5以上
		力骨	2.3
	その他	額縁、部枠	1.6
		アンカー（幅25mm程度）、補強材の類	2.3

④ステンレス製建具 曲げ加工 ＊普通曲げ ・かど出し曲げ
5.防火シャッター 鏡板による種類 ・防火シャッター ・防煙シャッター (建17.4.2)
シャッターケース（防火、防煙以外のもの）
・設ける ・設けない
開閉機構による種類 ＊上部電動式（手動併用） ・上部手動式 ・下部手動式

⑤木製建具 建具材
＊BL部品以外の建具の材料はBL技術的基準に準ずる
・＿＿＿＿＿＿＿＿
フラッシュ戸の表面板の厚さ（mm）
＊4 ・5.5
合板の接着剤の種類
水廻り箇所 ＊1類 ・2類
その他 ・1類 ＊2類

⑦建具金物 各住戸玄関用シリンダー 面付箱錠1個につき3本を1組とし、原則として1団地1製造所の製品とする。但し、Ⅱ、Ⅲ型住戸の玄関扉のカギは別製造所の製品とすることが出来る。
コンストラクションキー ＊製作しない ・する
シリンダー箱錠 ㈱ゴール（PH） 昭和ロック㈱（CH） ㈱ニッカナ（NKC）
GK㈱商店(HORI-1110) 興和ロック㈱（MMS）

⑧ガラスの留め材 (建17.6.1)

建具の種類	
アルミニウム製	・シーリング材C種 ＊ガスケット ・パテ
鋼製	＊シーリング材C種 ・ガスケット ・パテ（＊1種）
ステンレス製	＊シーリング材C種 ・ガスケット ・パテ（＊1種）
木製	＊シーリング材C種

⑨建具周囲のシーリング用材料 種別 ＊C種 (建10.5.1)

10現場先付けサッシ
サッシ枠の内法許容差はアルミサッシで±2.5mm、鋼製建具で±1.5mmを限度とする。
先付け枠の組立の際は、すみの直角度、枠の長さ及び曲がりに十分注意する。
欠込材は1本物を使用し、断面にテーパーを付け解体しやすくする。
先付け建具補強枠の施工区分は下表による。

区分	順序	施工内容
該当建具工事	1	建具枠のセット及び現場内搬入
	2	同上建具枠と先付け用補強枠のセット
	5	補強枠の取外し
	7	1．2．5の繰り返し
	9	使用済補強枠の現場外搬出
	10	建具の建込み及びガラス工事、水切Ⅲ板取付シーリング
	13	ガラス清掃
建築工事	3	現場内小運搬
	4	型枠への取付
	6	養生
	8	3．4の繰り返し
	11	建具の取付
	12	枠廻り四周シーリング

18章 内外装工事

①ビニル床シート張り ⊙住宅用(JIS A 5707) 厚さ（mm） ＊2
施工箇所 ・1，Ⅱ型住戸
・一般用(JIS A 5707) 厚さ（mm） ＊2.5
熱溶接工法 ＊行う ・行わない
施工箇所 ・Ⅲ型住戸

2.ビニル幅木 材質 ＊軟質 ・硬質
厚さ（mm） ＊2 ・
高さ（mm） ・60 ＊75 ・100

③弾性ウレタン塗り床材 (建18.7.1)

表面仕上げの種類	厚さ（mm）	製造所（製品名）
・平滑仕上げ	＊2	鹿土谷建材工業㈱（ミリオネートRF）
⊙防滑仕上げ	・	大和高分子工業㈱（USフロアー）
・つや消し仕上げ		日本特殊塗料㈱（ユータック）
		中外商工㈱（アートフロアー）
		信越ユニット㈱（ウレタクローン）

4.エポキシ樹脂塗り床材

仕上げの種類	厚さ（mm）	製造所（製品名）
・流し展べ工法	＊18.3.3(a)による	
・防滑仕上げ		
・レジンモルタル仕上げ		
・ガラスクロス積層仕上げ		

積層用ガラスクロス ＊EP－21A 1層

⑤石こうボード及びその他ボード張り

材種	種別		厚さ（mm）
⊙石こうボード			壁 ⊙9 ⊙12 ・15
			天井 ⊙9 ・12 ・15
⊙化粧石こうボード	普通	・トラバーチン模様	・9
		＊木目模様	和室 ＊天井用裏桟付パネルボード厚9
		＊洋風クロス調模様	洋室
	特殊		・9 ・12 ・15
⊙シージング石こうボード			⊙9 ・12 ・15
・無機質繊維強化石こうボード			・12 ・15 ・18 ・21 ・25
⊙石綿セメント板		・フレキシブル板	・4 ・5 ・6
		⊙平板	⊙5 ・6 ・8
		・軟質板	・4 ・5
・石綿セメントパーライト板		・0.8石綿パーライト板 ・0.8石綿パーライト板	・10 ・12 ・
⊙無石綿セメントけい酸カルシウム板			・6 ・8 ⊙10 ・12
⊙木毛セメント板		・難燃木毛セメント板 ⊙断熱木毛セメント板	・20 ⊙25 ・30
・パーティクルボード		表面硬度 ・ 耐吸 ・ 曲げ強さ ・	・15 ・17

⑥合板類張り

材種		樹種など	厚さ（mm）	工法
普通合板		生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ＊ラワン ・ 不透明塗料塗りの場合 ＊しな ・		＊A種 ・B種
特殊合板	天然木化粧合板	化粧単板 ・ そば包み ・行う	単板 ・0.3未満 ・ 基材 ・5.5 ・	＊A種 ・B種
	特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類 ⊙ポリエステル樹脂	基材 ・5.5 ⊙4 ・	＊A種 ・B種 ＊ポ46工法

7.フローリングボード張り

樹種	等級	板厚（mm）	板幅（mm）	平均板長さ（mm）	塗料
＊ぶな	＊1.2等混合	＊15	＊64～75	＊500以上且つ平均の長さが820以上	＊ウレタン樹脂ワニス塗り
・	・	・	・	・	・

⑧天然木化粧板フローリング張り
・天然木化粧板合フローリング（ベニヤフロア） (建18.4.1-2)
・天然木化粧板合フローリング（積層フローリング） (建18.4.1-3)
＊天然木化粧板合フローリング2種（ベニヤフローリング） (建18.4.1-4)

9.壁紙張り

施工箇所	品質	防火性能の級別 ・1級 ・2級 ・4級 ・5級

平成4年度

雇用促進住宅3型多賀・寒冷3DK標準設計図	図面番号 建築 1(4)
図面 建築工事特記仕様書 ----------4	
名称 縮尺	製作 年 月
雇用促進事業団 技術室	室長 / 主技術任役 / 技術役

⑩断熱材

材種	規格	厚さ(mm)	製作所（製品名）
◎ポリスチレンフォーム保温材	*JIS A 9511	・20 ◎30 ・50	ダウ化工KK（ストロフォーム B 2） 積水化学工業KK（エスペフォーム F-II） 日本スチレンペーパーKK（ミラフォーム FCP） 積水化成品工業KK（エバンライト SR） 岩倉化学工業KK（TKF-F BF 特）
◎硬質ウレタンフォーム保温材	*JIS A 9514 保温板1種3号	・20 ◎30 ・35	クリロンカセイKK（ニレーライトボード mm） 倉敷紡績KK（クランボードL） アキレスKK（アキレスボードAG）

⑪木工事内の内装　(建18/3.1)

パネル（羽目）（内装プレハブ工法）

仕様　13章による。但し仕様は共仕による他，型木を使用できる。
また，化粧用集成材を使用する場合，仕様の上仕表面材の仕上がり厚さは 6mm 以上とし，型木とする。

製造所　雇用促進事業団の実績のある製造所
住宅・都市整備公団の実績のある製造所

適用　技術室長の承認をうけて，本節によらず13章にもとづく在来工法とすることができる。

⑫床下パネル

*発泡プラスチック系床下地材
材料　建18.12.2 による。
工法　建18.12.3 の他，下地均しモルタルは下記の(1)または(2)による。
(1) 空練りモルタル（砂4～5：セメント1）敷による密着工法
(2) モルタルダンゴ（φ100mm程度，タタミ下用16箇所／枚以上，洋室用20箇所／枚以上）による工法

*粒式断床用床下地材
床パネルの結露処理（床パネルに耐水合板を用いる場合は除く）は下記による。
パラフィン含浸（含浸量50g／㎡以上）又はパラフィン塗布とする。
但し，塗布の場合は全面とし，現場で切断したときは，切断面所に塗布する。
捨張りは，普通合板1類2等，厚12とする。
製造所　三洋工業KK（ホームベース800－25タイプ）
日本住宅パネル工業共同組合（パネフロアーS－Cタイプ）
フタビ化学工業KK（フリーフロアSS25）
ブリジストンタイヤKK（ユニットフロアーL－8100）

⑬壁紙

種別　・A種　*B種
要法　・下記製造所の防虫加工紙を壁床に取りつける。
新関西化工KK（タタミシート）
興和紙絹㈱（朝日印壁床用防虫紙）
中越パルプ工業KK（中越パルプ壁床用防虫紙）
中国紙工業KK（文化たたみシートKD 8000）
日本樹木工業所KK（壁床用防虫ハッスイ紙）
森化工紙KK（MK防虫シート）

⑭合成樹脂成型板張り

材種　硬質塩化ビニル樹脂成型品
断熱　*あり（発泡ウレタン裏内打ち）　・なし
製造所　フタビ化学工業KK（フタビパスパネルU）
松下電工KK（ナショナルパスリブ カラーシリーズ）

19章 仕上げユニット・その他工事

①浴室ユニット

BL浴室ユニット　◎A型1117　・A型1116　材種　◎塩ビ鋼板　◎アルミ
耐水試験　*行う　・行わない
漏水試験　*行う　・行わない
換気設備　◎BL換気ユニット（ダクト用ファン150φ）
製造所　積水化学工業KK　東陶機器KK　日立化成工業KK
パンポー工業KK　松下電工KK
製品　*雇用促進事業団技術室の3型　平成4年度版 承認図に基づく製品とする。

②流し台及びコンロ台

*公共住宅用BL部品でセクショナルキッチンI型の規定による。
但し，流し台・コンロ台のトップ及びシンク仕，ステンレス製SUS304とする。
寸法及びオプションその他は図示による。

・II型住戸用は図示の製品とし，施工図を作成し監督員の承諾を受ける。

③吊戸棚

公共住宅用BL部品でセクショナルキッチンI型とし，寸法及びオプションその他は図示による。

④水切棚

ステンレス製(SUS 430) で，棚板は幅270mm一体型とし，設置及び長さは図示する。

⑤タオル掛

ステンレス製(SUS 304) 市販品とし，長さ 360mmとする。

⑥レジスターフード

合成樹脂製でスライドレジスターと防虫網付フードの組合せとし，下記の製品もしくは同等品以上とする。
KK協和製作所（和室:KS-4400P+KS-7700P，ダイニング室:KS-6010P+KS-7700P）

⑦集合郵便受箱

BL部品のステンレス製とし，図示による。

⑧階段・階数表示板

合成樹脂製　E-364型とし，2～5階の階数を表示する。
階段名は，北側から向かって，左から順次アルファベット大文字で表示する。

⑨室名札

E-365-2P型とする。
室番号は北側から向かって，左から各階毎に順次番号をつける。
取付けは，玄関鋼製建具横壁に木レンガビス留め又はカールプラグ留めとする。

⑩かぎ箱

住戸用1体1個とし，下記の製品もしくは同等品以上とする。
太田興業KK（ドラゴンキーボックス）　KK杉田金属（携帯形Cシリーズ）

⑪消火器

住戸階段室1～5階パイプシャフト前に，ABC粉末10型加正式を設置する。
集会室に，同上消火器を4箇所に設置する。

⑫浴槽・給湯器ユニット（BL部品）

・II形住戸の浴槽はBL－1100型，FRP製BP型とする。
・II形住戸の給湯器ユニットは，Bタイプ浴室内据置型で凍結防止装置付とし，ガス接続管13mm（都市ガスは強化ガス管，LPガスは金属可撓管）長さ 900を含む。但し給湯能力は25℃上昇で 8.0ℓ/min以上とし，ケーシングはステンレス製とする。
シャワー器具は不用とする。
*I型及びII型住戸の浴槽，給湯器ユニットは別途とする。

⑬キーナンレール

形状及び材質　(建14.7.1)
（一般部）　*C型
*ステンレス製(SUS304)　・アルミニウム製　但しブラケットを除く
（窓吊部）　*H型
*アルミニウム製またはステンレス製(SUS304)
・II型住戸浴室はC型でブラケット共ステンレス製(SUS304)又はアルミニウム製とする。

⑭ブラインド

形式	*横形ブラインド	・縦形ブラインド
材種	*アルミニウム合金	・アルミニウム合金　・クロス
開閉方式	*ギャー式　・コード式	
スラットの成形幅(mm)	*25	・100　・80
昇降テープの材種	*ポリエステル繊維	

⑮表示

次項のものは監督員の指示により表示文字又は案内図をペンキ等で表示する。
案内板，プロパンボンベ室（火気厳禁，危険物貯蔵庫の表示）
階段室集合郵便受箱（1～5階　10戸番号表示），廃棄物横所（使用注意書の表示）
・II形住戸用の階段室集合郵便受箱には盲人用表示プレートを併設する。

16誘導ブロック

誘導ブロック（視覚障害者誘導ブロック）はコンクリート製品着色仕上げ 300× 300× 30 とし，下記の製造所の製品もしくは同等品とする。
佐波島金属KK　草竹コンクリート工業KK　栗山ゴム工KK
バルコニー及び屋内に使用する誘導ブロック（視覚障害者誘導ブロック）は，合成ゴム製 300× 300とし，エポキシ樹脂系接着剤を使用する。

⑰遮光カーテン
⑱スリーブ

工事完成了後，和室南側外壁面の開口部に遮光カーテン（ビニール製又は紙製）を設置する。(建19.2.7)
材種　*紙チューブ

⑲インサート類の埋処理

建19.2.5は鉄筋のスペーサーで鋼製のものを用いる場合に適用する。但し型枠接触面を樹脂コーティングしたものを用いても良い。

⑳便所，浴室換気パイプ

ステンレスダクト
製造所　KK栗本鉄工所（エクセルスダクト）　フジモリ産業KK（TFS スムーズダクト）
防露　◎行う　（◎浴室　◎便所　）
・行わない（・便所　・　）
屋外突出部　◎下記の製品，若しくは同等品以上のベンドキャップ（防風板，ガラリ付）を設ける。
KKユニックス（US換気口G型）

㉑物干金物

*アルミ自在型
・手摺支柱取付型（半付収納型）　KK協和製作所（KS-DA381AB）又は同等品
・手摺支柱取付型（一般型）　KK協和製作所（KS-DA380AB）又は同等品
・ステンレス製固定型（一般II型）

㉒床下換気口

・合成樹脂製丸型
◎ステンレス製丸型レジスター　KK協和製作所（KS-B655SB）又は同等品
・鋳鉄製スライドレジスター

㉓天井換気口

・合成樹脂製換気パイプ
◎合成樹脂製換気口　大建プラスチックKK（DK75MP）又は同等品

㉔銘板

B－366　b型とし，下記の様に設置する。
◎集会所　◎管理事務所　◎倉庫　◎受水槽ポンプ室　◎プロパンボンベ室

21章 外構整備工事

①駐地整地

構築物と周囲地盤とのなじみ，道路と駐地面，整地（造成）工事による整地，地盤の整正及び乏張り工事に支障のない不陸整地までとする。
仕上げ地表面の排水勾配は，0.5%以上とする。(建21.4.1)

2.しゃ断層，凍上抑制層用材料

しゃ断層　*川砂又は海砂　・
凍上抑制層　*クラッシャランのC－40　・川砂又は海砂
・深さ　GL－　cm

3.盛土材料

路床の盛土材料

4.路床土の支持力比（CBR）試験

*行わない
・行う　（*乱した土　・乱きない土）(調査編2章11節)

⑤路盤材料

*クラッシャランのC－40　又はクラッシャランスラグのCS－40　(建21.5.3)

6.路盤の締固め度の検査

*行わない　(建21.5.3.3)
・行う

⑦アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類　(建21.5.5表)
・一般地域　*密粒度アスファルトコンクリート（13）
・寒冷地域　*細粒度アスファルトコンクリート（13F）
シールコート　・行う　*行わない
アスファルト混合物の抽出試験　(建21.5.5.4)
*行う　・行わない

⑧コンクリート舗装

早強セメント　・使用する　・使用しない
溶接金網　・使用しない　*使用する

⑨インターロッキング舗装

インターロッキングブロック　寸法　*80　・60
色調　*標準色　・

10特殊舗装

・カラー舗装　種別　*顔料を使用した加熱アスファルト混合物　(建21.5.10)
・透水性舗装　(建21.5.11)
・コンクリート平板舗装　規格　*300　(建21.5.6)
クッション材　*砂　・空練りモルタル　(建21.5.12)
・舗石　種類　・　(建21.5.9)

⑪舗石

・歩車道境界ブロック（JISによる呼び名）　・A　・B　・
・地先境界ブロック　（JISによる呼び名）　・A　・B　・　(建21.6.1)
・インターロッキング地先境界ブロック（インターロッキング舗装材の製造所仕様による。）

⑫コンクリート側溝

◎鉄筋コンクリートL型（JISによる呼び名）　・250A　◎250B　・
◎鉄筋コンクリートU型（JISによる呼び名）　◎150　・180　・240

⑬排水工事

鉄筋の種類　*7.1.1表のB類　(建21.7.1)
排水管の材種　◎ 100VP，　75VP　(建21.7.1表)
排水ます及びふた　・鋳鉄製マンホールふた（*防臭型　・　）　(建21.7.2表)
◎鋼製グレーチング（受枠付）
・コンクリート製マンホールふた

⑭植栽工事

植込み　*現場発生の真土　◎客土　(建21.8.1)
支柱丸太等　*防腐剤処理　・鉄き丸太
芝張り　種別　*こうらい芝
工法　平地　*目地張り
切り土のり面　*べた張り
盛り土のり面　*鉄芝張り
樹名札の材質，形状及び取付は，監督員の指示による。
枯損樹木，芝などの植替え
(1) 新植及び移植の場合の枯樹木などの植替えの対象とする期間は，引渡しの日から1年とする。
(2) 新植の場合は，期間内に樹木などが枯死または枝損部及び変形不良などとなった場合は，同等以上のものを再植栽する。
(3) 移植の場合は，期間内に枯死した樹木などは，直ちに伐採及び抜根を行い，真土で埋戻し整地する。
工事完成時に下記のものを提出する。
樹木用肥料　油粕　20kg入　10袋
芝生用肥料　20kg入　6袋

⑮遊戯施設

製造所　日本公園施設協会の会員とする。(建21.9.1)

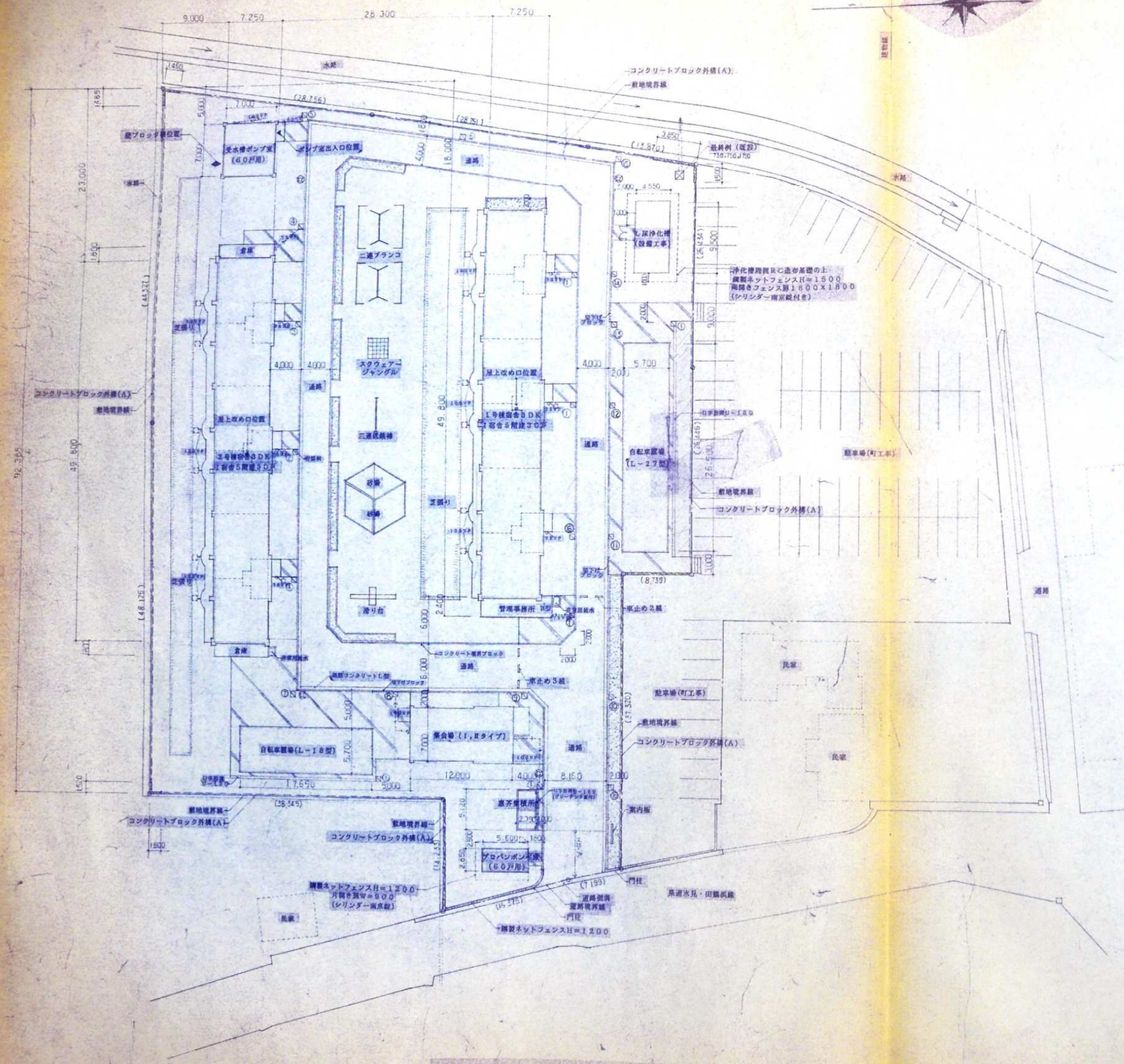
⑯鋼製ネットフェンス

・一般型
支柱　V形，異形パイプ又は丸パイプでH=1,500以下は捨なしとし，亜鉛メッキの上に塗装仕上とする。
胴縁　L形又は異形パイプで亜鉛メッキの上に塗装仕上とする。
ネット　菱型金網，鉄線径 3.2φ網目50又は56で亜鉛メッキの上に塗装仕上とする。

◎多雪寒冷型
支柱　丸パイプ（50.8φ，H≦1,350:t=1.6，H≦2.000:t=2.3 以上又は48.6φ t=3.2 以上）で亜鉛メッキの上に塗装仕上とする。
胴縁　丸パイプ（38.1φ，t=1.6 以上）又は異形パイプ（38×35×1.6以上）で金網端部パイプ内固定方式とし，亜鉛メッキの上に塗装仕上とする。
多雪地域の場合は，上胴縁の上部に支柱と同程度の笠木を設ける。
ネット　菱型金網，鉄線径 3.2φ網目50又は56で端部を同縁からの脱落防止巻き加工を施したものとし，亜鉛メッキの上に塗装仕上とする。

平成4年度

雇用促進住宅 3型多雪・寒冷3DK標準設計図				図面番号 建築 1(5)
図面　建築工事特記仕様書 ----------5				製作 年 月
名称　縮尺				
雇用促進事業団　技術室	室長	主技術任設	技術設	



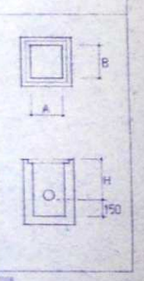
(3DK　I宿舎2棟60団地) 配置図　S=1:300

棟別面積表 (㎡)

棟別		延床面積	建築面積
宿舎1号棟 (管理事務所付)		1867.12	414.03
宿舎2号棟 (倉庫付)		1871.49	418.40
集会所		78.45	82.88
受水槽　ポンプ室		49.00	50.06
自転車置場	L−27型	157.53	157.53
	L−18型	105.31	105.31
プロパンボンベ室		15.96	15.96
し尿浄化槽、操作室		43.22	43.22
屋外便所		11.74	11.74
合計		4199.82	1299.13

街灯リスト

	A×B	H		A×B	H
①	450×450	400 7+1m	⑨	600×600	710 710
②	450×450	540 540	⑩	600×600	510 1240 1040
③	600×600	580 580	⑪	600×600	550 950 350
④	600×600	950 950	⑫	600×600	450 1130 1130
⑤	600×600	1050 1050	⑬	750×750	1220 450 1220
⑥	750×750	1210 1210	⑭	750×750	450 1270 1270
⑦	450×450	450	⑮	750×750	1370 1370 1370
⑧	450×450	570 570 5100	⑯	450×450	430 430 2+m



注　1. 例番号○は、鋳鉄製格子蓋、その他はグレーチング蓋とする。
　　2. 屋外排水勾配は原則として次記による。
　　雨水管150φ以下−1/120、200φ−1/160

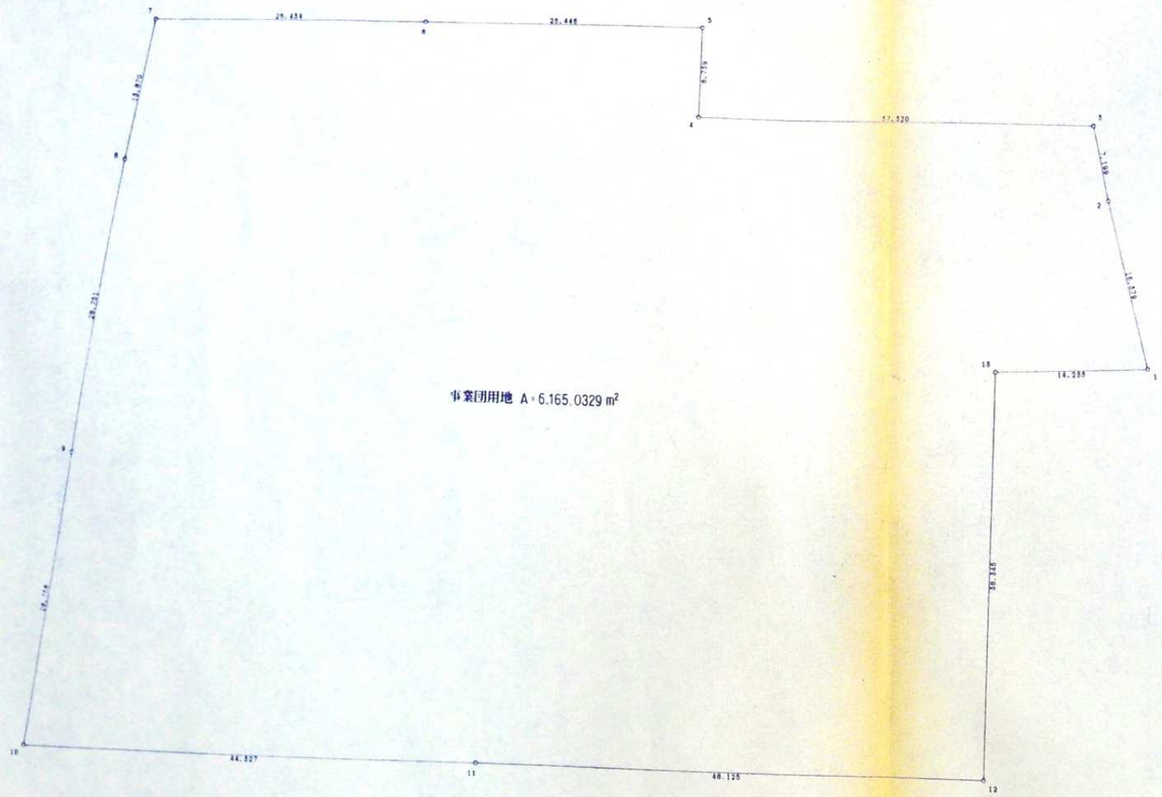
凡例

	敷地境界杭及び敷地境界線
	コンクリート舗装
	既設コンクリート (鉄筋コンクリート)
	コンクリート境界ブロック (歩車道境界ブロック)
	鉄筋コンクリートL型切り下げ部分
街灯例	鉄筋コンクリートL型 (L−250B)
	鋼製ネットフェンス
道路	アスファルトコンクリート舗装
	コンクリート植込縁石
	植栽
	芝張り
	街灯 (設備工事) 位置
	(　) 内の数値は敷地境界の各ポイント間の距離を示す

雇用促進住宅鳥取宿舎建築工事

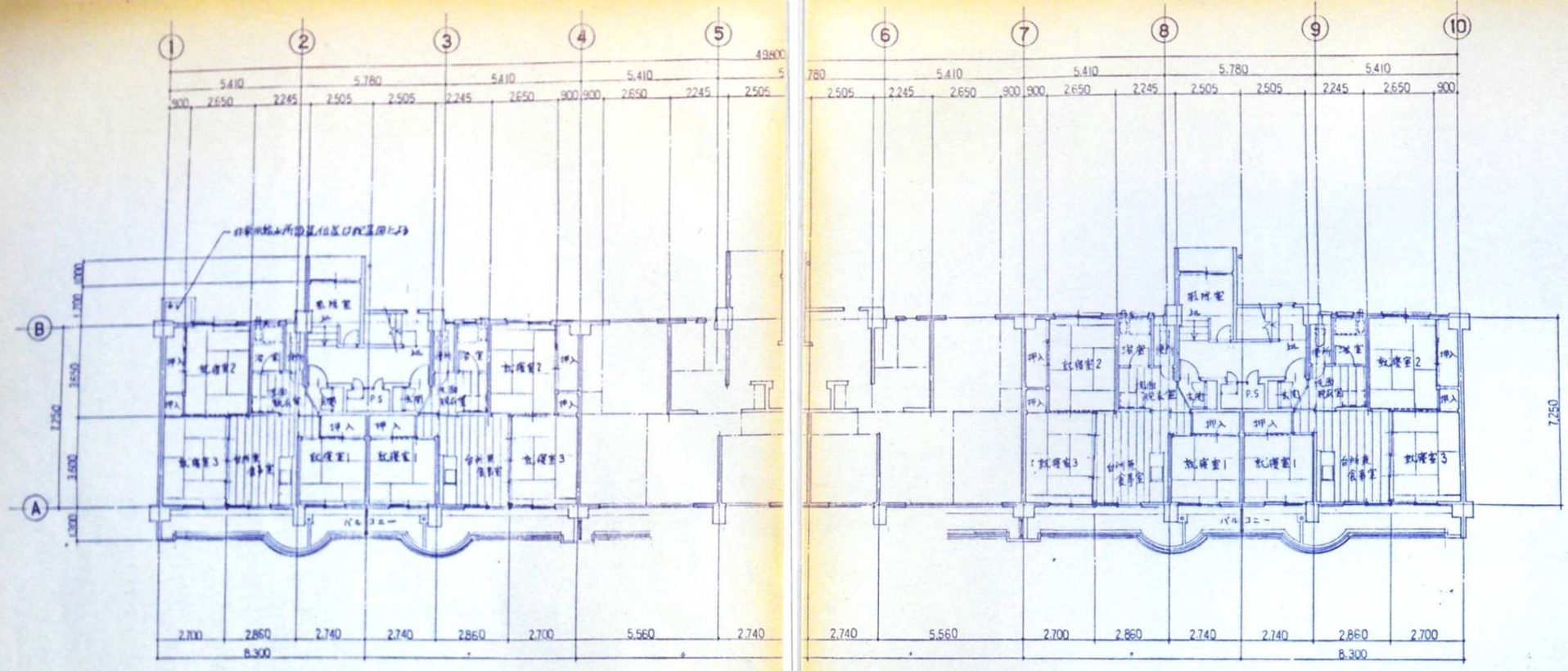
図面名称　配置図	2−(1)
(株)浦建築研究所	

S=1:300



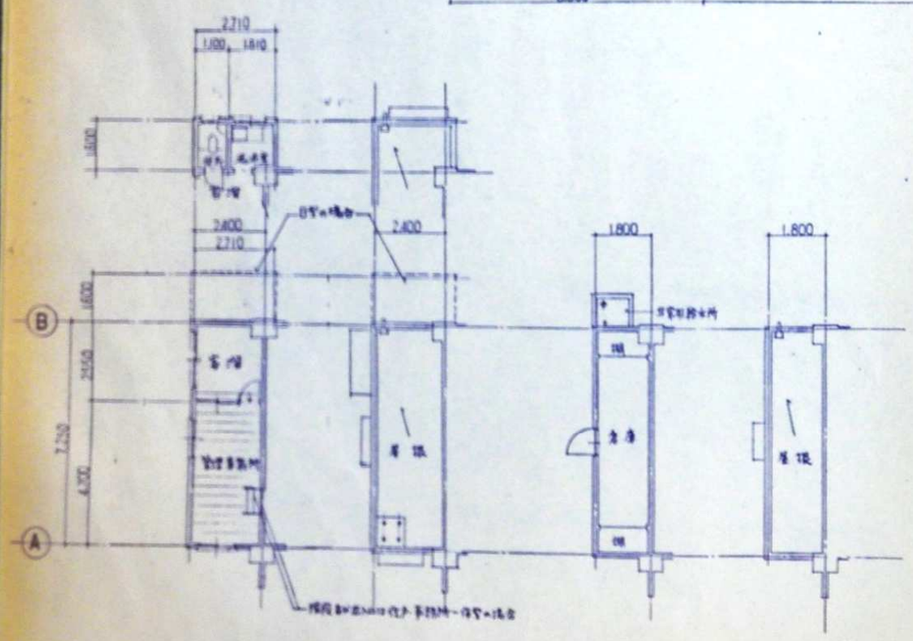
地番	センタイ		
符号	X	Y	辺長
1	1039.591	1057.529	16.379
2	1055.548	1053.834	7.199
3	1062.613	1052.452	57.520
4	1063.443	1015.141	8.739
5	1072.180	1015.346	26.446
6	1072.683	988.904	26.434
7	1073.188	962.475	13.870
8	1059.575	959.815	28.751
9	1031.255	954.856	28.756
10	1002.926	949.918	44.327
11	1001.971	994.235	48.125
12	1000.952	1042.349	38.345
13	1039.285	1043.299	14.253
合計		12330.065800	
面積		6165.0329000	

雇用促進住宅鳥屋宿舎建築工事	
図面名称　案内図、敷地求積図	2 －(2)
(株)浦建築研究所	



1階平面図

S=1:100



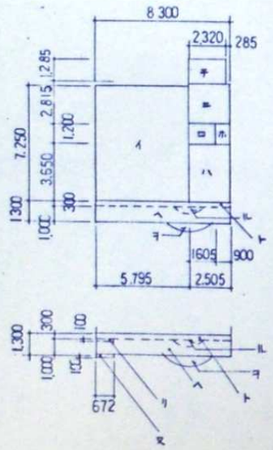
面積表

建築面積	
延床面積	11

	専用部分	共用部分	
1階	318.498	57.735	
2階	318.498	48.792	
3階	318.498	48.792	
4階	318.498	48.792	
5階	318.498	48.792	
計	1592.490	252.903	1

(単位 M²) 3DK－1棟 (30戸)

392.301	1戸当り床面積			
345.393	専用部分	共用部分	計	
	53.083	8.132	61.215	
計				
376.233	1戸当りバルコニー (普戸)			11.895
367.290	〃 (中間戸)			11.962
367.290				
367.290	1棟当りバルコニー			358.190
367.290	屋上点検口			2.400
345.393	管理事務所床面積	21.736	倉庫床面積	13.050



面積算定

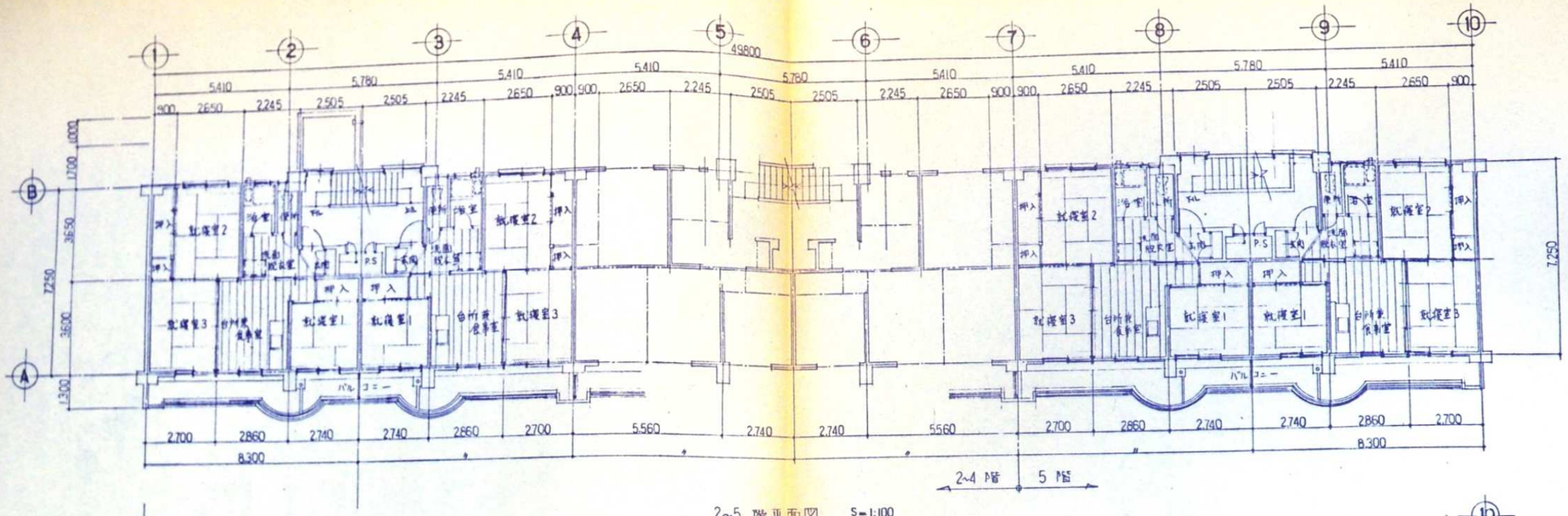
イ	5.795	× 7.250	=	42.014
ロ	1.605	× 1.200	=	1.926
ハ	2.505	× 3.650	=	9.143
ニ	2.505	× 2.815	=	7.052
ホ	0.900	× 1.200	=	1.080
ヘ	8.300	× 1.300	=	10.790
ト	8.300	× 0.300	=	2.490
チ	2.320	× 1.285	=	2.981
リ・ヌ	0.672	× 0.100	=	0.067
1戸当り専用部分	イ＋ロ＋ハ		=	53.083
1戸当り共用部分	ニ＋ホ		=	8.132
1戸当りバルコニー(普戸)	ヘ＋ヲ		=	11.895
〃 (中間戸)	ヘ＋ヲ＋ヌ		=	11.962
各階専用部分	53.083	× 6	=	318.498
1階共用部分	8.132	×6＋チ×3	=	57.735
2～5階共用部分	8.132	×6	=	48.792
1棟当りバルコニー	11.895×10＋11.962×20		=	358.190
建築面積	318.498＋57.735			
	＋ト×6＋リ×4＋ル×6		=	392.301
ル			=	0.810
ヲ			=	1.105

(ル.ヲ ハ面積算定は建築ろ(1)参照)

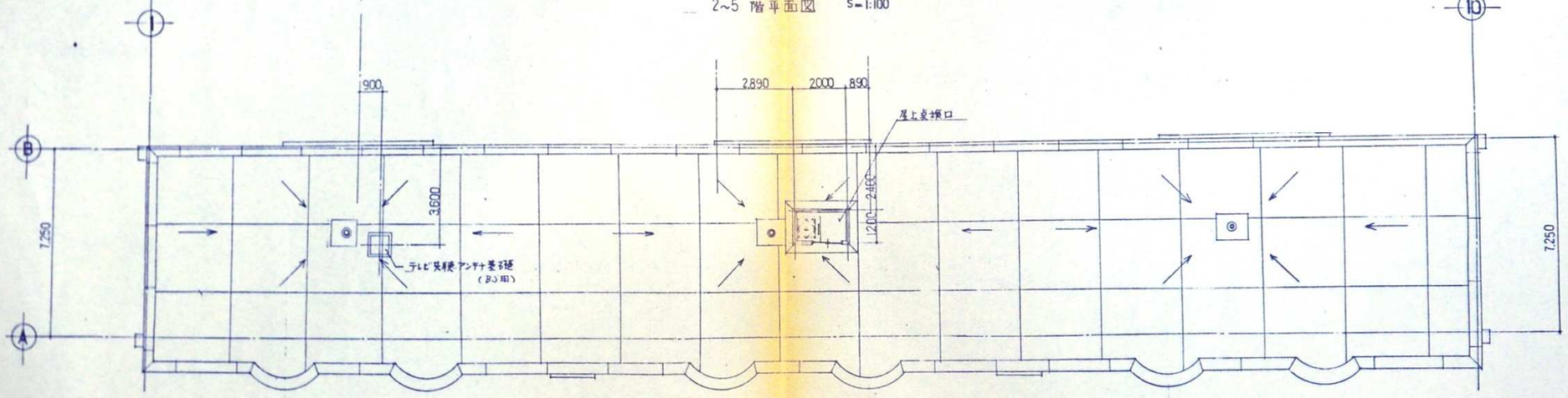
平成4年度

雇用促進住宅 3階多雪・寒冷3DK標準設計図		図面番号 建築 3(5)
図面名称	30戸建 1棟平面図 . 面積表 縮尺1:100	製作 年 月
雇用促進事業団 技術室	室長 / 主任技術員 / 技術員	

標準図



2~5 階平面図　S=1:100



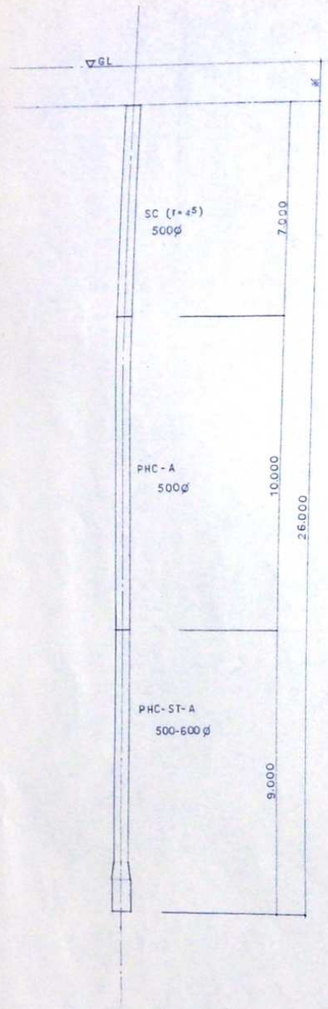
屋上階平面図　S=1:100

平成4年度

雇用促進住宅、3型多雪・寒冷3DK標準設計図		図面番号 建築 3(6)
図面名称	30戸建 2~5階平面図、屋上階平面図 縮尺 1:100	製作 年 月
雇用促進事業団 技術室	室長 / 主任技術職員 / 技術職員	

標準図

宿舎

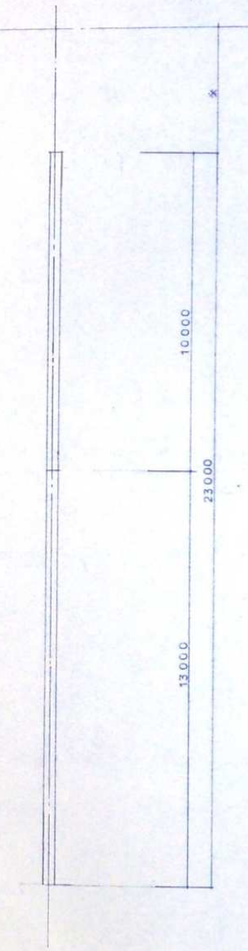


杭種	SC杭+PHC杭+PHC-ST杭	杭の実長 L=26M	耐力	R=120 t/本
工法は38条認定工法とする		位置は杭伏図に拠る		
本数	1号棟	40		
	2号棟	40		
	計	80		

倉庫，管理事務所，集会所，受水槽ポンプ室

杭種	PHC杭	杭径 350	杭の実長 L=26M	耐力 R=45 t/本
工法は38条認定工法とする			位置は杭伏図に拠る	
本数	管理事務所	2		
	倉庫	2×2=4		
	集会所	12		
	受水槽ポンプ室	8		
	計	26		

合併処理槽



杭種	PHC杭	杭径 350	杭の実長 L=23M	耐力 R=45 t/本
工法は38条認定工法とする			位置は設備図に拠る	
本数	8			

雇用促進住宅鳥屋宿舎建築工事

図面名称	杭仕様図	0 − 1
(株)浦建築研究所		

土質柱状図

報告用紙

調査名　雇用促進住宅鳥屋宿舎（仮称）地盤調査工事

調査地点　鹿児島県鹿屋市字春木迫内

調査年月日　5年 2月 15日 ～ 5年 2月 17日

標高　19.57 m

ボーリング孔：No No.1　機種　YBM-05型

孔口水位（自然、泥）　1.95 m　調査責任者　株式会社ホクコク地水

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	試料番号	土質名	色調	記事
	19.57	0.00	0.30		粘土	褐灰	耕作土。
	17.77	1.80	1.30		砂質	黄褐	粘土多量混入。
	17.17	2.40	0.40		砂質粘土	黄褐褐	小礫混入。 細砂少量混入。
	16.77	2.80	2.20		砂質	黄褐灰	砂は中～細砂主体。φ5～30mmの角礫混入する。 GL-7.30～7.90、8.70～9.00、9.75～10.00 粘土的部分多い。 含水中～多。
	14.57	5.00	3.30		シルト質砂	黄褐	含水多。 コアは指圧で容易にのりこむ。 シルト分卓越するところがある。 φ5～15mmの亜角礫点在。
	11.27	8.30	2.80		シルト質砂中砂	黄褐	φ5～10mmの亜角礫混入。 シルト～細砂卓越する所がある。
	8.47	11.10	2.80		シルト質砂	黄褐	比較的均質である。
	5.67	13.90	3.30		細砂中砂	黄褐	中細砂主体。 φ20～30mmの円礫混入する。 所々φmax 100mm存在する。 所々細砂卓越する。

備考

注1）試料採取方法の記号
T：シンウォールサンプラー　F：フォイルサンプラー
P：標準貫入試験用サンプラー　O：オーガー
D：ディッセルサンプラー

注2）単位重試験方法の記号

土質柱状図

報告用紙

調査名　雇用促進住宅鳥屋宿舎（仮称）地盤調査工事

調査地点　鹿児島県鹿屋市字春木迫内

調査年月日　5年 2月 15日 ～ 5年 2月 17日

標高　19.60 m

ボーリング孔：No No.2　機種　YBM-05型

孔口水位（自然、泥）　2.00 m　調査責任者　株式会社ホクコク地水

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	試料番号	土質名	色調	記事
	18.10	1.50	1.50		砂質粘土	黄褐	耕作土。
	16.60	3.00	1.30		砂質	黄褐	φ5mm程度の円礫混入。
	15.30	4.30	5.50		細砂	黄褐灰	均質である。
	9.80	11.00	0.20		砂質	黄褐	φ5～20mmの円礫混入。 中細砂主体。 含水中～多。 GL-10.00～12.00 細砂混入。
	9.60	11.20	1.40		シルト質砂	黄褐	含水多。 シルト分卓越する所がある。 粗砂多。
	8.20	12.60	0.70		粘土	黄灰	コアは指圧で容易にへこむ。
	7.50	13.30	3.10		シルト質砂	黄褐	比較的均質である。 含水小。
	4.40	16.40	3.50		中砂	黄褐	シルト分卓越する所がある。 φ10mmの亜角礫。
	0.90	19.90	3.50		細砂中砂	黄褐	中細砂主体。 φ10～20mmの円礫混入する。 φmax 60mm。 所々細砂。

備考

注1）試料採取方法の記号
T：シンウォールサンプラー　F：フォイルサンプラー
P：標準貫入試験用サンプラー　O：オーガー
D：ディッセルサンプラー

注2）単位重試験方法の記号

土質柱状図

報告用紙

調査名　雇用促進住宅鳥屋宿舎（仮称）地盤調査工事

調査地点　鹿児島県鹿屋市字春木迫内

調査年月日　5年 2月 15日 ～ 5年 2月 18日

標高　19.21 m

ボーリング孔：No No.3　機種　YBM-05型

孔口水位（自然、泥）　1.80 m　調査責任者　株式会社ホクコク地水

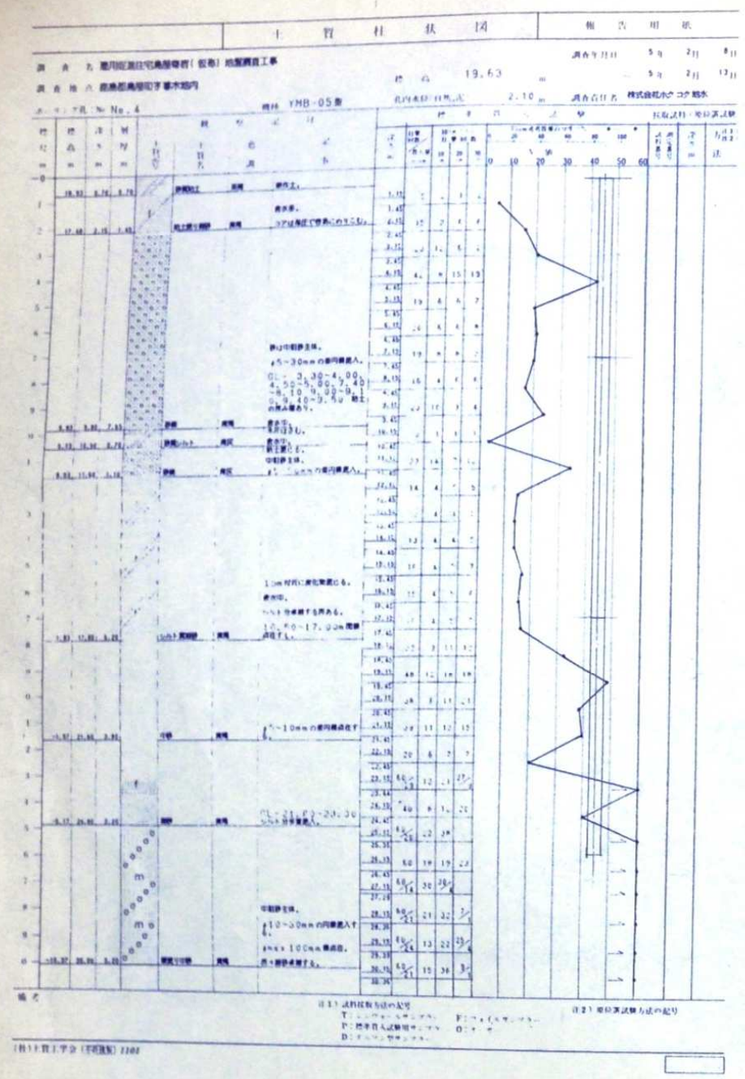
標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	試料番号	土質名	色調	記事
	18.31	0.90	0.90		砂質粘土	黄褐	耕作土。
	16.81	2.40	1.70		砂質	黄褐	GL-1.50m より砂質へはさむ。 小礫混入する。
	14.91	4.30	1.90		砂質シルト	褐灰	均質。 含水多。 GL-3.40～3.70m 黄褐色の細砂。
	7.21	11.90	7.60		砂質	黄褐	砂は中～細砂主体。 φ5～20mmの亜円礫混入する。 GL-6.10～7.20m 粘土的部分多い。 含水中～多。
	3.11	16.10	4.80		シルト質砂	黄褐	中砂亜礫混入する。 シルト分卓越する所がある。 14.70m 層100mm程度。
	-4.94	24.15	8.05		シルト質砂中砂	黄褐	中細砂主体である。 φ5～10mmの角礫点在。 シルト～細砂卓越する所がある。
	-13.79	33.00	8.85		細砂中砂	黄褐	中細砂主体。 φ20～30mmの角礫混入する。 φmax 60mm。 所々細砂卓越する。

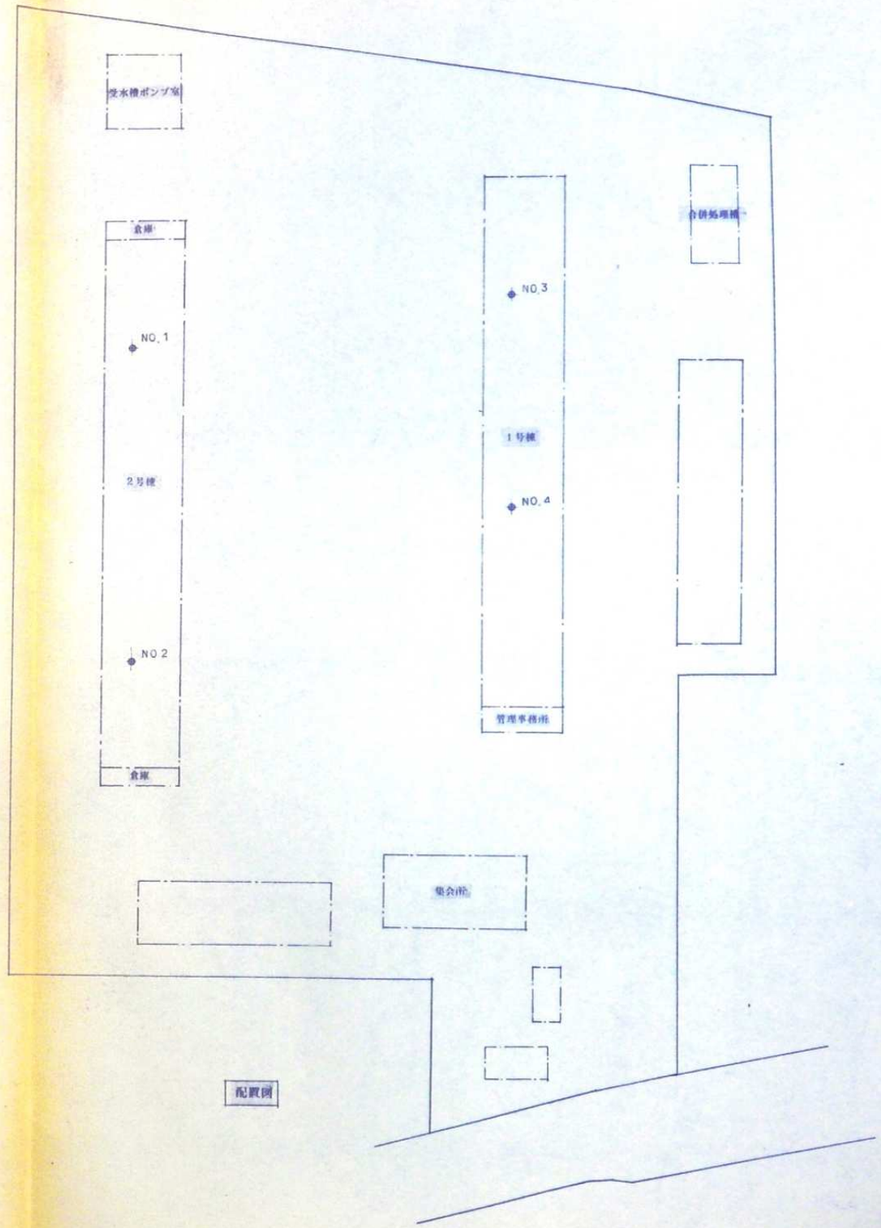
備考

注1）試料採取方法の記号
T：シンウォールサンプラー　F：フォイルサンプラー
P：標準貫入試験用サンプラー　O：オーガー
D：ディッセルサンプラー

注2）単位重試験方法の記号

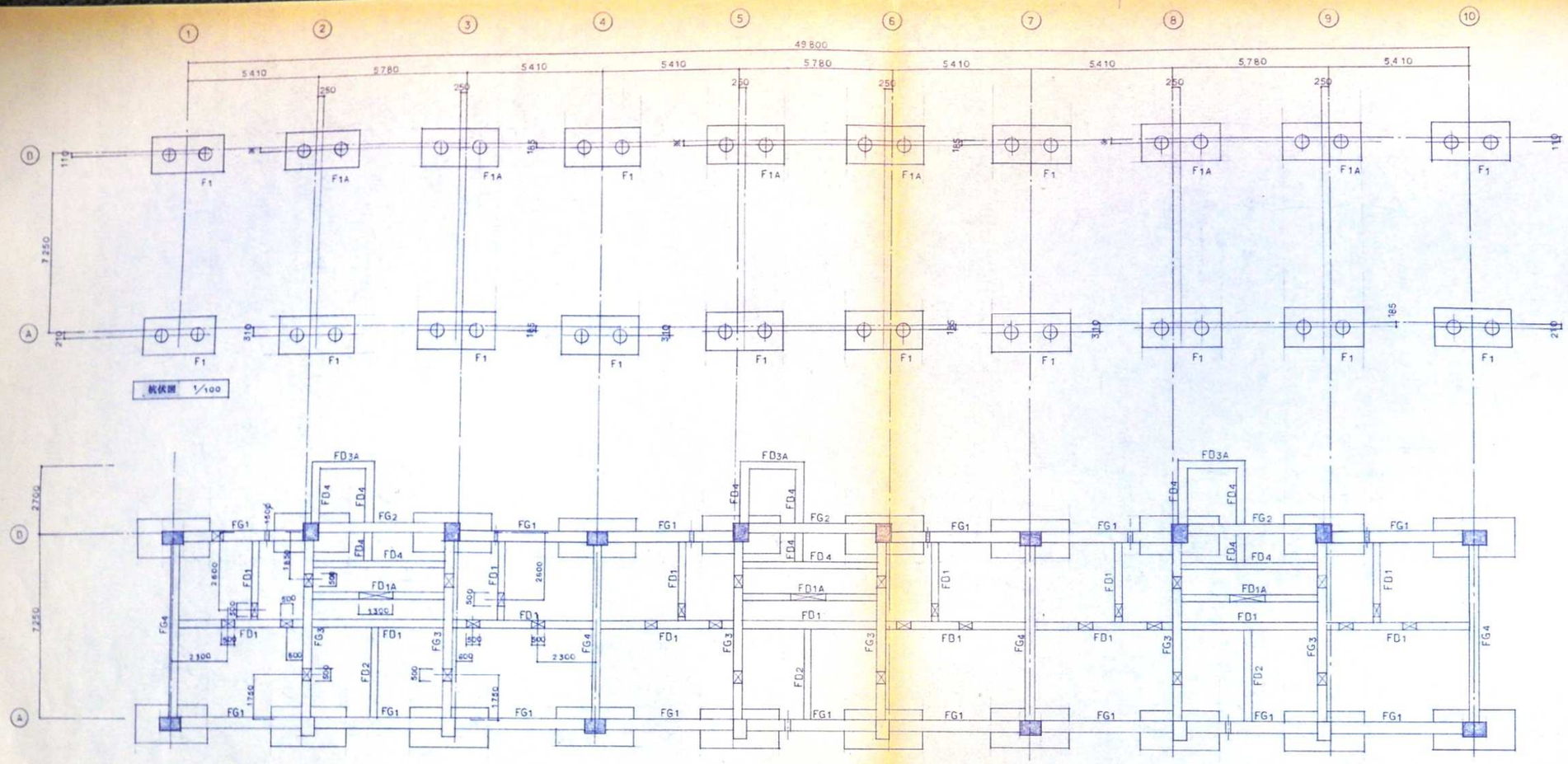
雇用促進住宅鳥屋宿舎建築工事	
図面名称　ボーリング柱状図(その2)	0 － 2
(株)浦建築研究所	



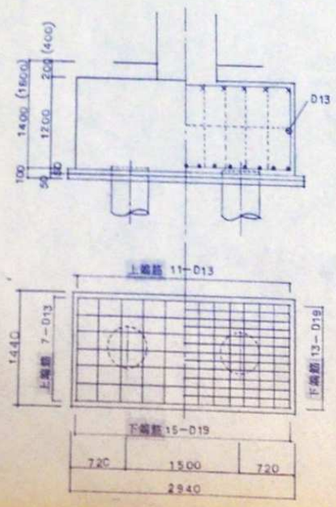


雇用促進住宅鳥屋宿舎建築工事

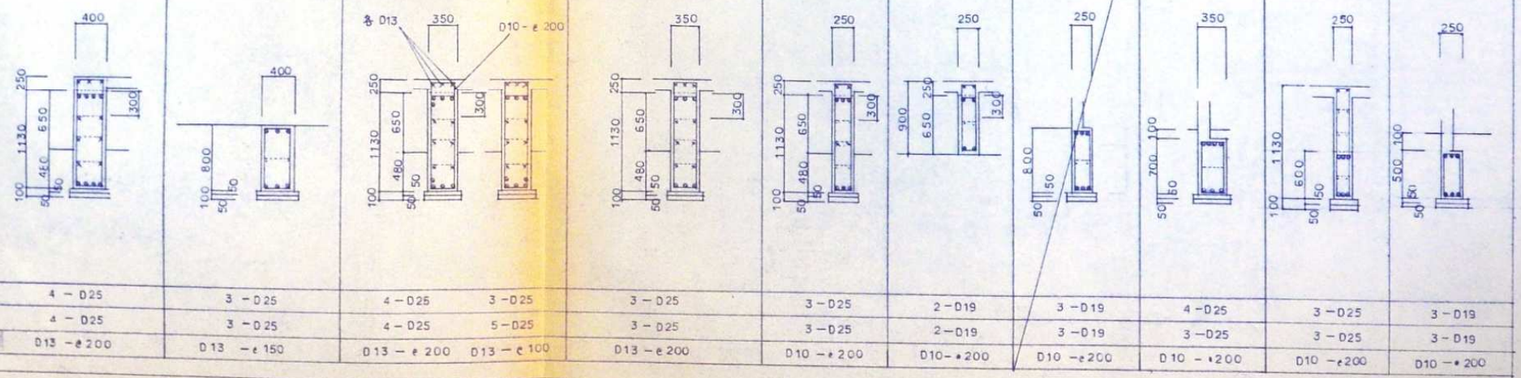
図面名称　ボーリング柱状図（Ｆ入）	０－３
(株)浦建築研究所	



基礎リスト 1/40

符号	F1 (F1A)
断面	

基礎梁リスト 1/40

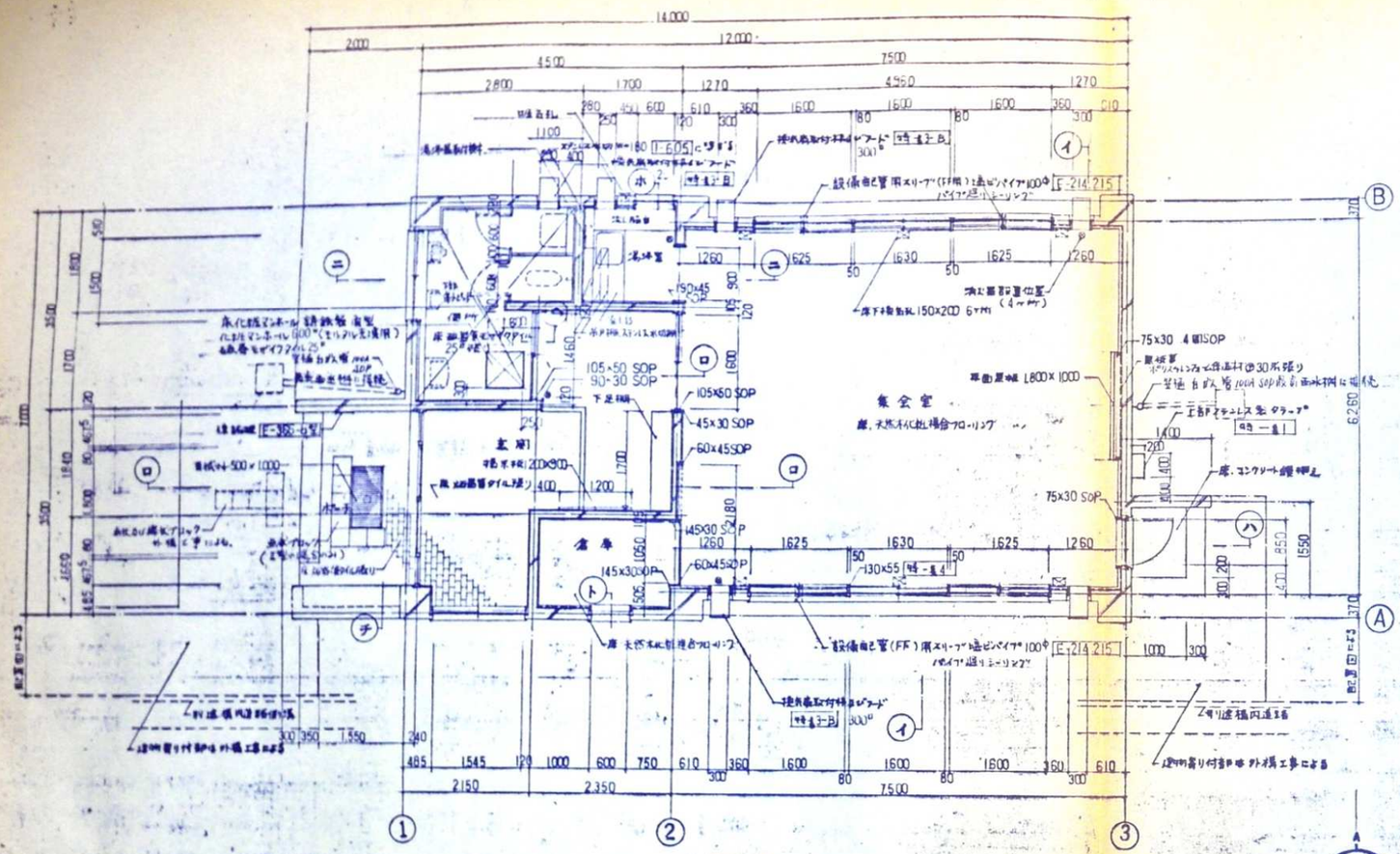
符号	FG1	FG2	FG3		FG4	FD1	FD2	FD3	FD4	FD1A	FD3A
部位			端部	中央部							
断面											
上端筋	4 − D25	3 − D25	4 − D25	3 − D25	3 − D25	3 − D25	2 − D19	3 − D19	4 − D25	3 − D25	3 − D19
下端筋	4 − D25	3 − D25	4 − D25	5 − D25	3 − D25	3 − D25	2 − D19	3 − D19	3 − D25	3 − D25	3 − D19
スターラップ	D13 − @200	D13 − @150	D13 − @200	D13 − @100	D13 − @200	D10 − @200	D10 − @200	D10 − @200	D10 − @200	D10 − @200	D10 − @200

杭 …… 別図参照

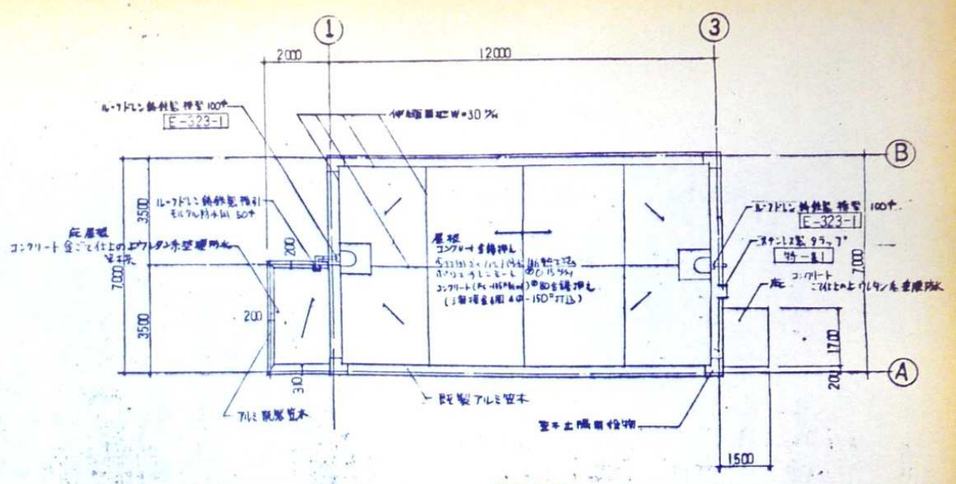
筋 …… 主 筋 D10 × D13

巾 止 筋 D10 − @600

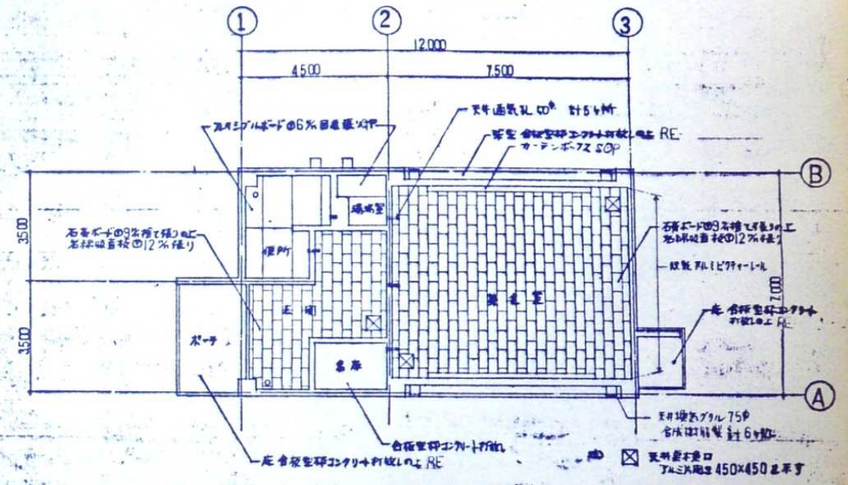
雇用促進住宅鳥居宿舎建築工事		
図面名称	宿舎 杭,基礎 梁伏図 基礎, 基礎梁リスト	1 −
(株)浦建築研究所		



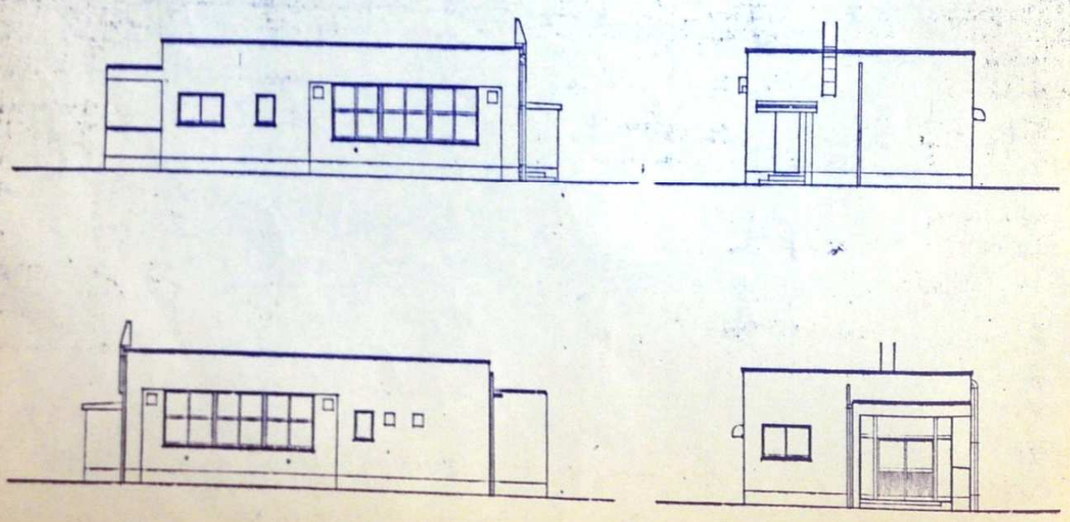
平面図 S 1:50



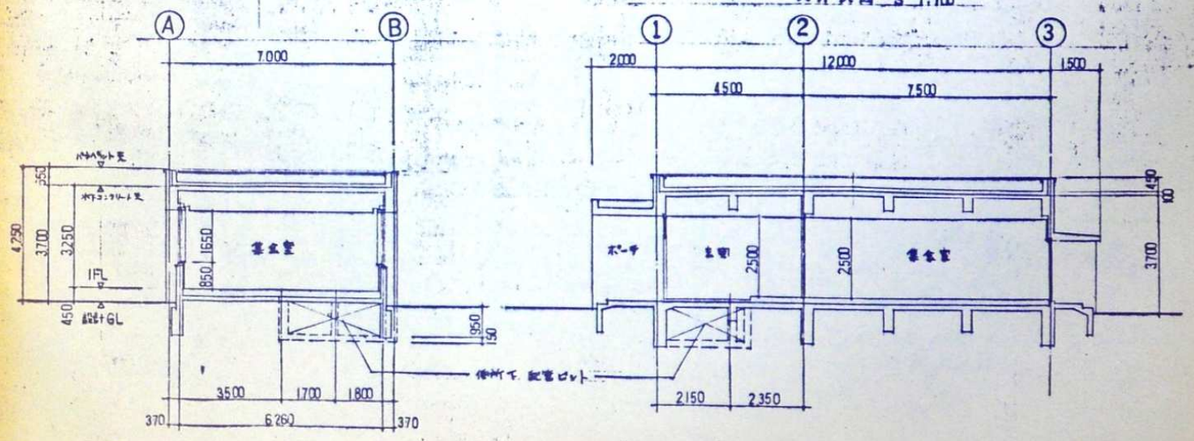
屋根伏図 S 1:100



天井伏図 S 1:100



立面図 S 1:100

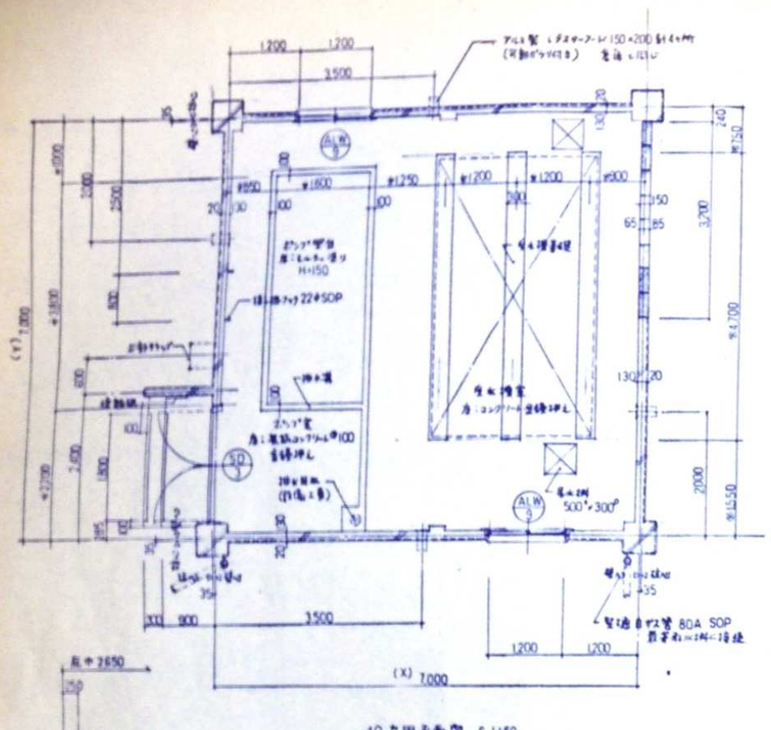


断面図 S 1:100

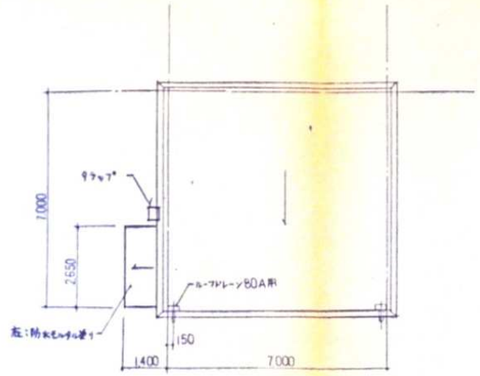
平成4年度

雇用促進住宅 3部屋・浴付3DK 標準設計図	図面番号 建築 1(1)
図面 集会所 平面図、立面図、断面図、天井伏図	
名称 (エ.エ.タイプ) 縮尺 1:50 1:100	製作 年 月
雇用促進事業団 技術室	室長 主任技術専門職 技術専門職

標準図



40戸用平面図 S 1:50

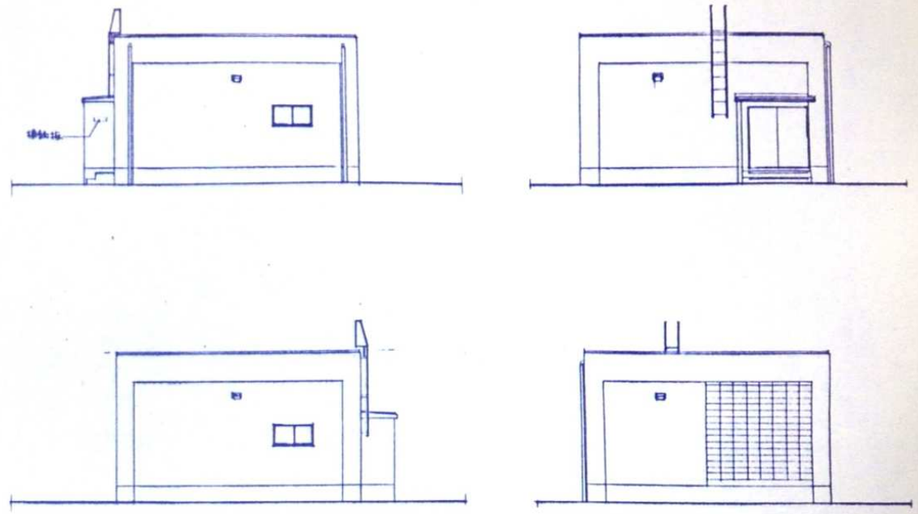


40戸用屋根伏図 S 1:100

○ 40，60戸用寸法リスト

	(X)	(Y)	(Z)
40戸用	7,000	7,000	3,900
60戸用	7,000	7,000	4,400

注）1. レジスターフードのレジスター開閉用フック工事（L=1,500）1本設置
2. ※印寸法は機械設備工事と打合せの上決定する。



40戸用立面図 S 1:100

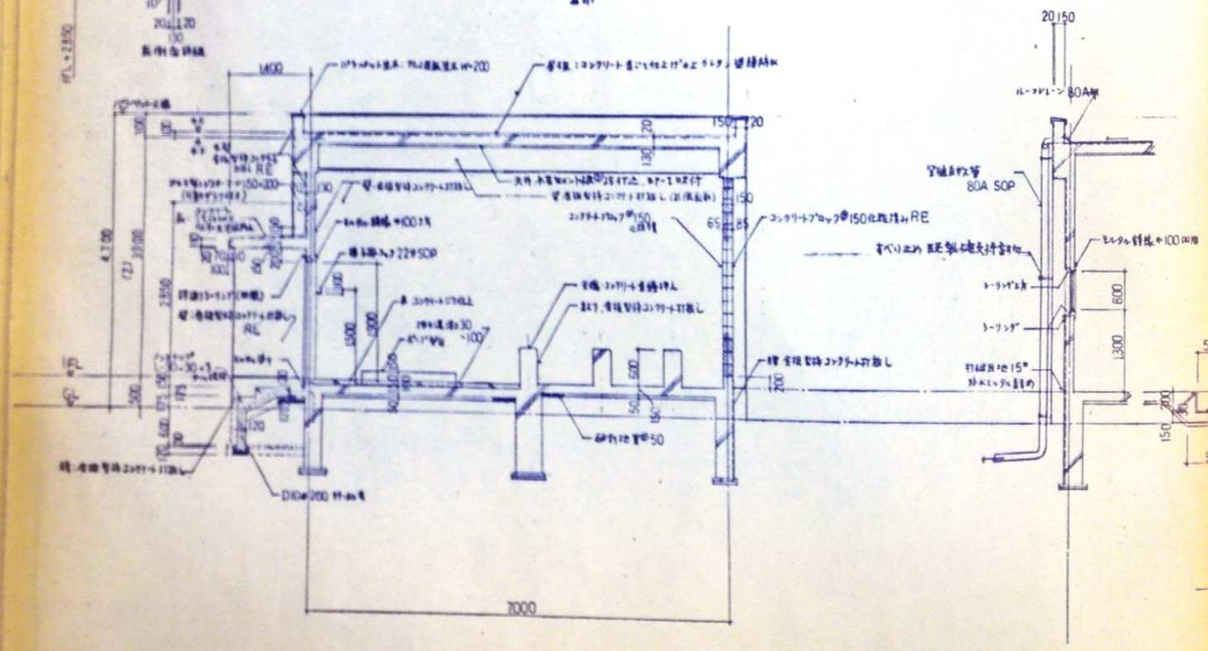
○ 外部仕上表

屋根	コンクリート金ごて仕上げの上ウレタン塗膜防水 笠木共
外壁	合板型枠コンクリート打放しの上RE　一部コンクリートブロック150化粧積RE
腰	合板型枠コンクリート打放し
その他	埋込板，合成樹脂製 300×75 E-366 白型

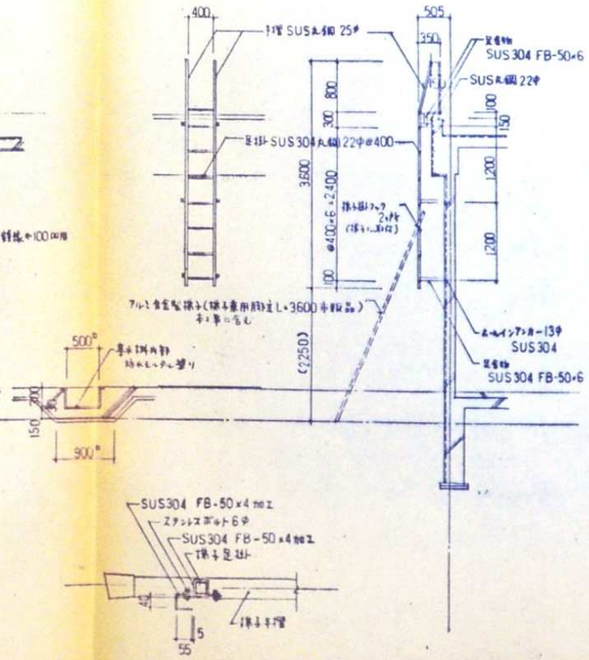
○ 内部仕上表

	床	巾木	壁	天井	備考
ポンプ室	配管コンクリート100金ごて押え	合板型枠コンクリート打放し	合板型枠コンクリート打放し	木毛セメント板 ロックウール吸音材 野ブチ仕上げ	引掛ボルト用フック埋込
受水槽室	コンクリート金ごて押え	〃	一部コンクリートブロック化粧積	〃	

記号・個数	SO — 1ヶ所	ALW — 2ヶ所
型式・寸法	1800 / 1800	600 / 1200
特別仕様	両開き スチールフラッシュドア	BL-A型 アルミサッシ引違い
仕上	SOP	
網戸・見込	扉 40% 枠 100%	網入型板硝子 6.8% 枠 60%
金物	丸棒ステンレス SUS304 (127) 3枚号，ドアハンガー，フランス落し，埋込形ラッチ錠	クレセント アルミ引違戸は SUS304 1ヶ，ドアチェーン 1ヶ
その他	下枠ステンレス (SUS304)	アルミ手掛 L=80%



40戸用断面図 S 1:50



埋込形フック詳細図 S 1:10

平成4年度

標準図

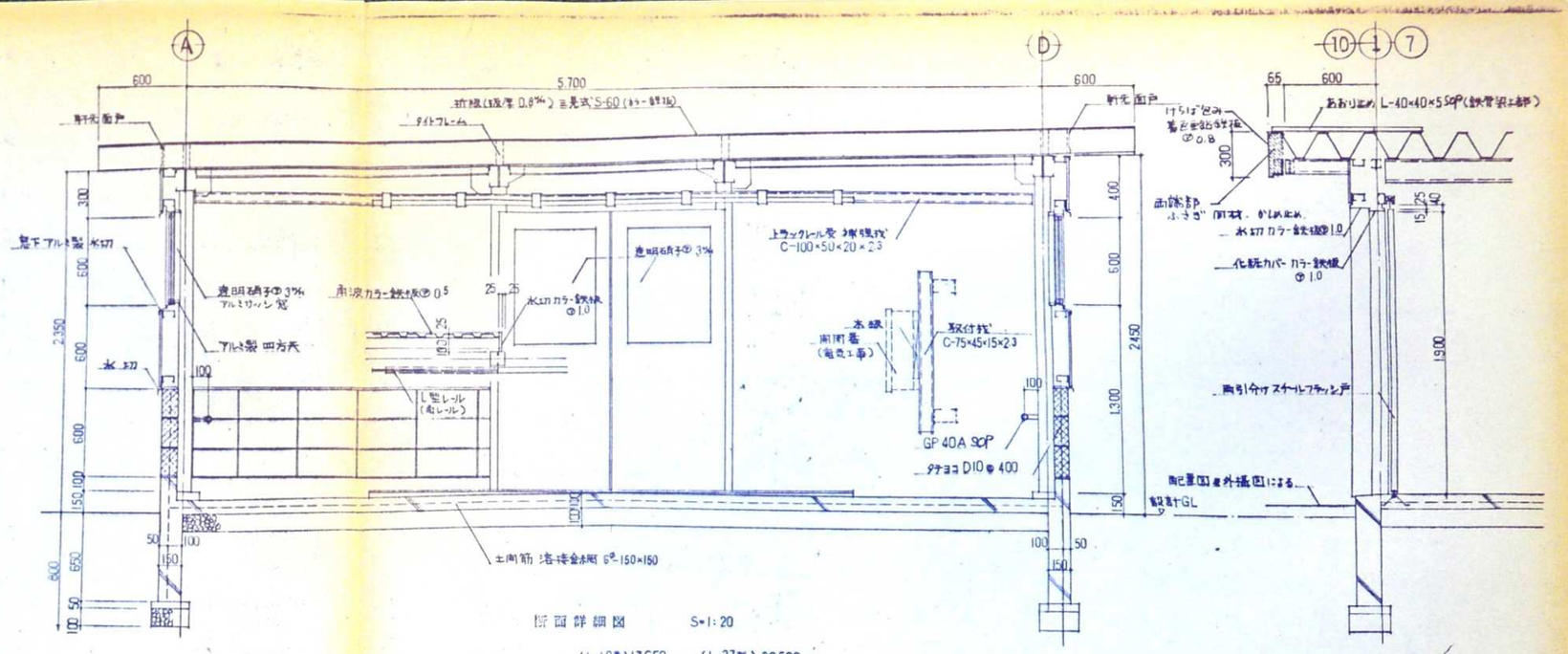
応用促進住宅，3型多雪・寒冷地DK標準設計図		図面番号 雪家 2(1)
図面 40戸用・60戸用 受水槽，ポンプ室詳細図		製作 年 月
名称	縮尺 1:50 1:100	
雇用促進事業団 技術室	室長 / 主技術補佐 / 技術主任	

自転車置場設計概要 及 仕上

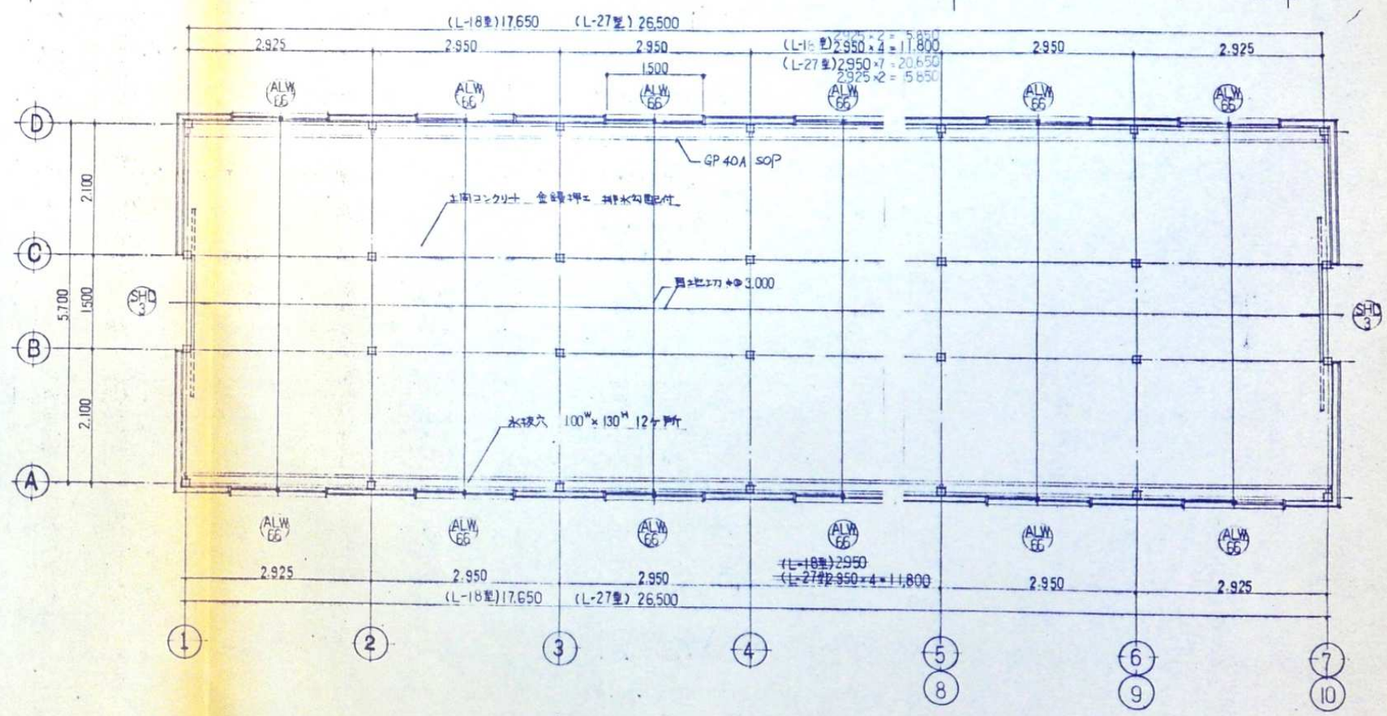
建築面積	L-18型 5900×17850＝105.31	外部 屋根	折板㊀0.8㎜
	L-27型 5900×26700＝157.53	壁	東波カラー鉄板㊀0.5㎜ 三見サイディングS又は
床面積	L-18型 5900×17850＝105.3		腰高窓以上、水切鉄板はカラー鉄板㊀1.0㎜ ロロエ
	L-27型 5900×26700＝157.53	柱	コンクリートブロック㊀100 化粧積 C積
基礎工事	基礎の形状については その地盤の形態により	内部 床	土間コンクリート 金鏝押エ
	変更するものとする。	巾木	コンクリート打放し
鉄筋コンクリート工事	コンクリート設計強度 Fc=210㎏/㎠ 鉄筋 SD295	柱	コンクリートブロック 化粧積
	土間コンクリート 135㎏/㎠ 溶接金網入	壁	東波鉄板 現わし
コンクリートブロック工事	補強筋 ﾀﾃﾖｺ D10@400 補強部 D13 CBはC積	天井	屋根折版 現わし
鉄骨工事	鉄骨は JISG 3350 SSC400 ﾎﾞﾙﾄ SS400		
屋根工事	折版は㊀0.8㎜ JIS A 6514 ｱﾙﾐ1030	備考	内外部共 全て SOP塗（カラー鉄板以外）
	妻部金物鉄板（両面）とする。		

建具表

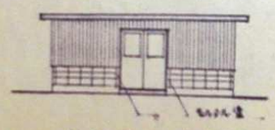
	SHD 出入口扉	ALW EG 窓
形状寸法	開放引手 1900 1500	600 1500
種別方式	両引仕様スチールフラッシュ扉	引違アルミサッシ （BL-B型）
仕上	SOP	
硝子及び其他	透明硝子㊀3㎜ 見込40	透明硝子㊀3㎜ 枠見込70㎜
備考	トラックレール及金物一式 ストッパー ゴムパッキン付	クレセント 水切 四方額縁付



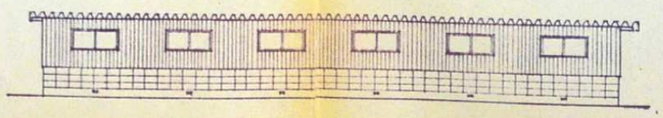
断面詳細図 S=1:20



平面図 S=1:50



立面図 S=1:100



立面図 S=1:100

平成4年度

標準図

雇用促進住宅 3階建・鉄骨造3DK 標準設計図			図面番号 3(1)
図面名称	自転車置場詳細図 縮尺 1:50 1:100 1:20		製作年月
雇用促進事業団 技術室	室長	主任技術員	技術員

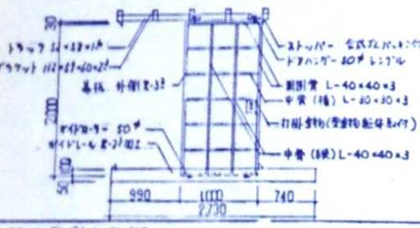
外部仕上表

基礎	太洋スレート葺　寸 太洋ケラバスレート使用
外壁	各板型枠コンクリート打放し　RE-
柱	各板型枠コンクリート打放し
建具	片引スチールハンガードア　SOP
その他	雨樋　鋼製格子埋れ孔 SOP　排水管　E-366-D型

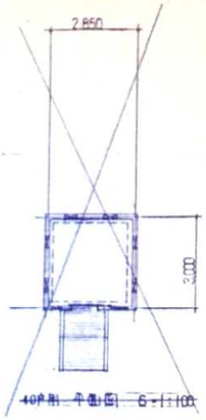
内部仕上表

床	壁・腰壁	天井	その他
コンクリート ミヤ仕上	各板型枠コンクリート打放し	スレート現し	鉄部 SOP

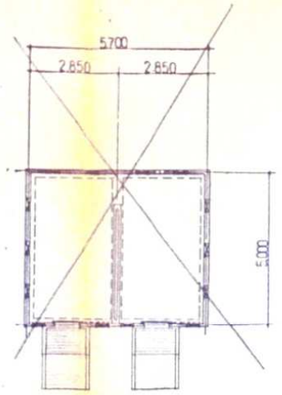
記号　使用個所　SD　出入口扉



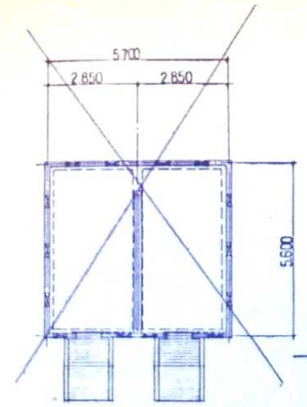
種別・寸法	片引 スチールアングルハンガードア
仕上	SOP
金物	行縁金物　ドランダー 車輪錠　ストッパー ゴムパッキンイン



40戸用 平面図 S=1:100

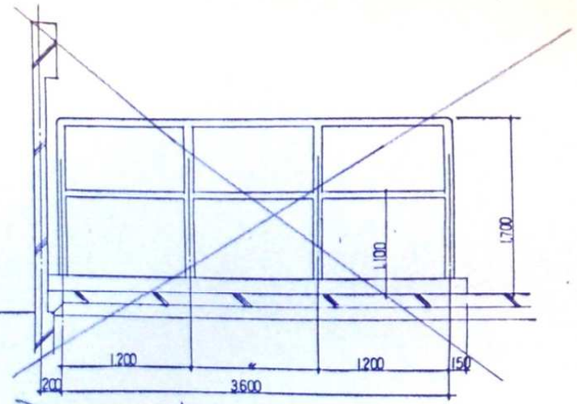


120戸用 平面図 S=1:100

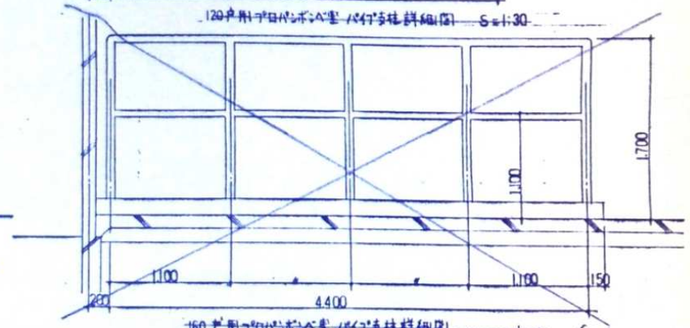


160戸用 平面図 S=1:100

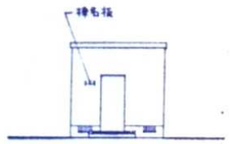
注. 破線は壁型（石膏板、SOP塗り仕様）を示す。詳細は80戸用による



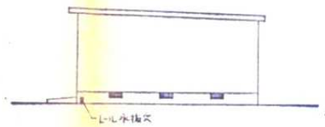
120戸用プロパンボンベ室 パイプ支柱詳細図 S=1:30



160戸用プロパンボンベ室 パイプ支柱詳細図 S=1:30



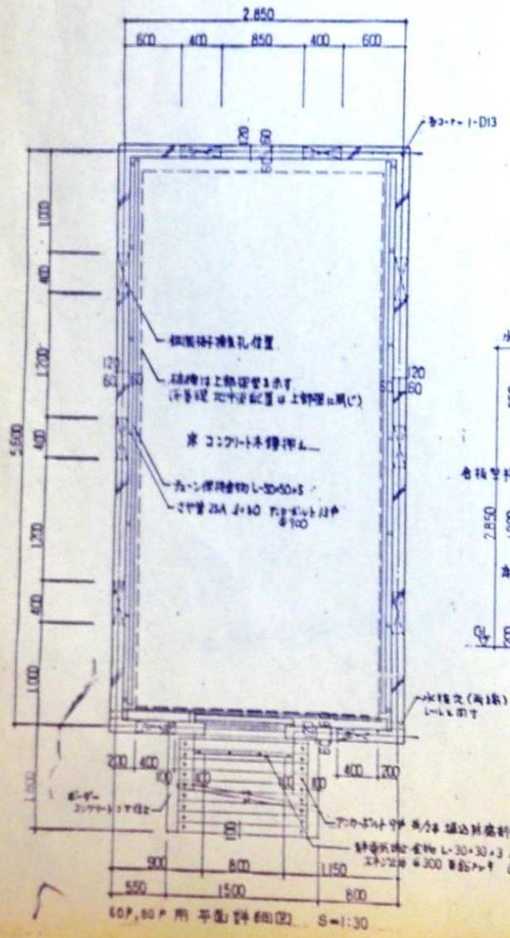
正面 立面図 S=1:100

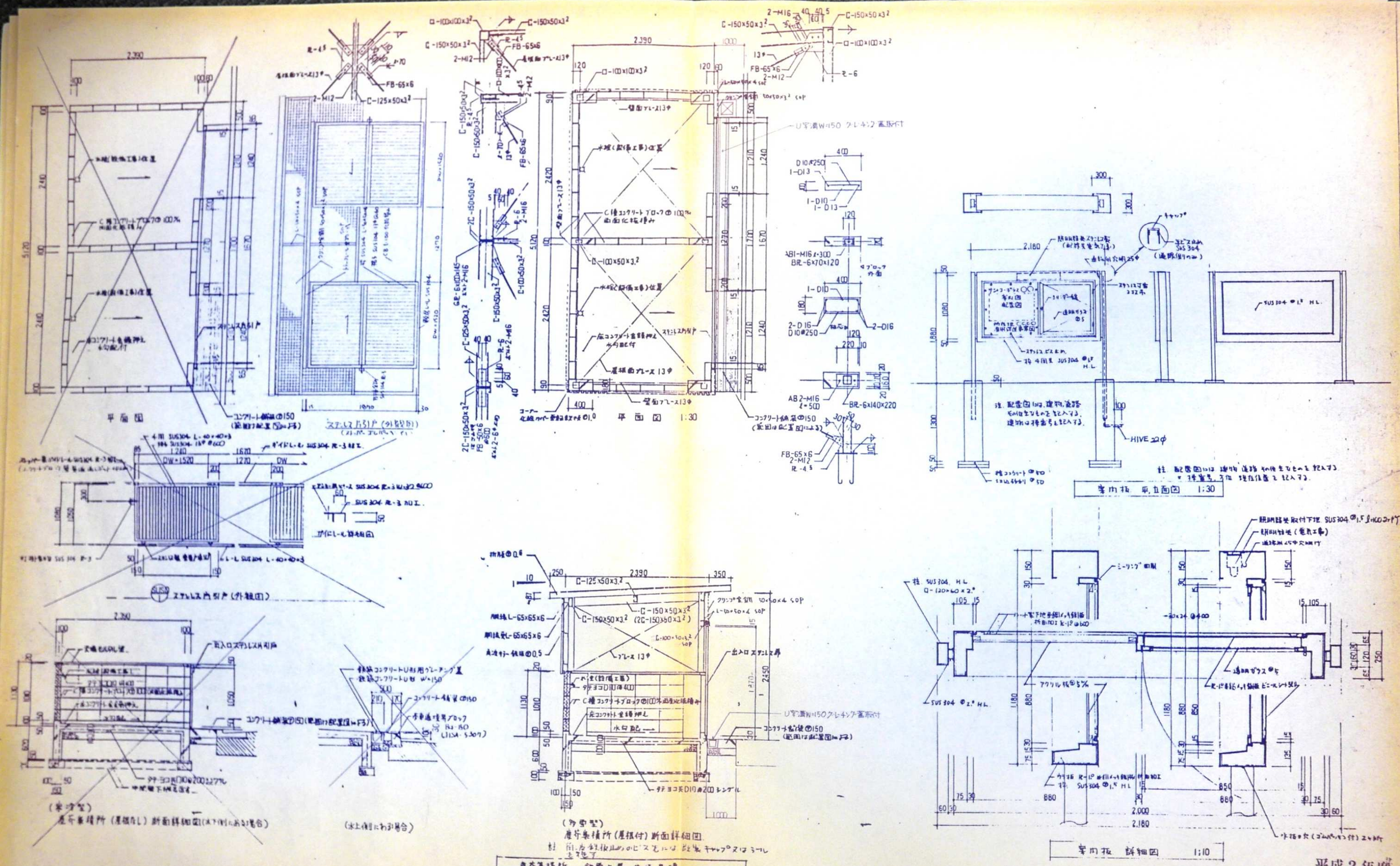


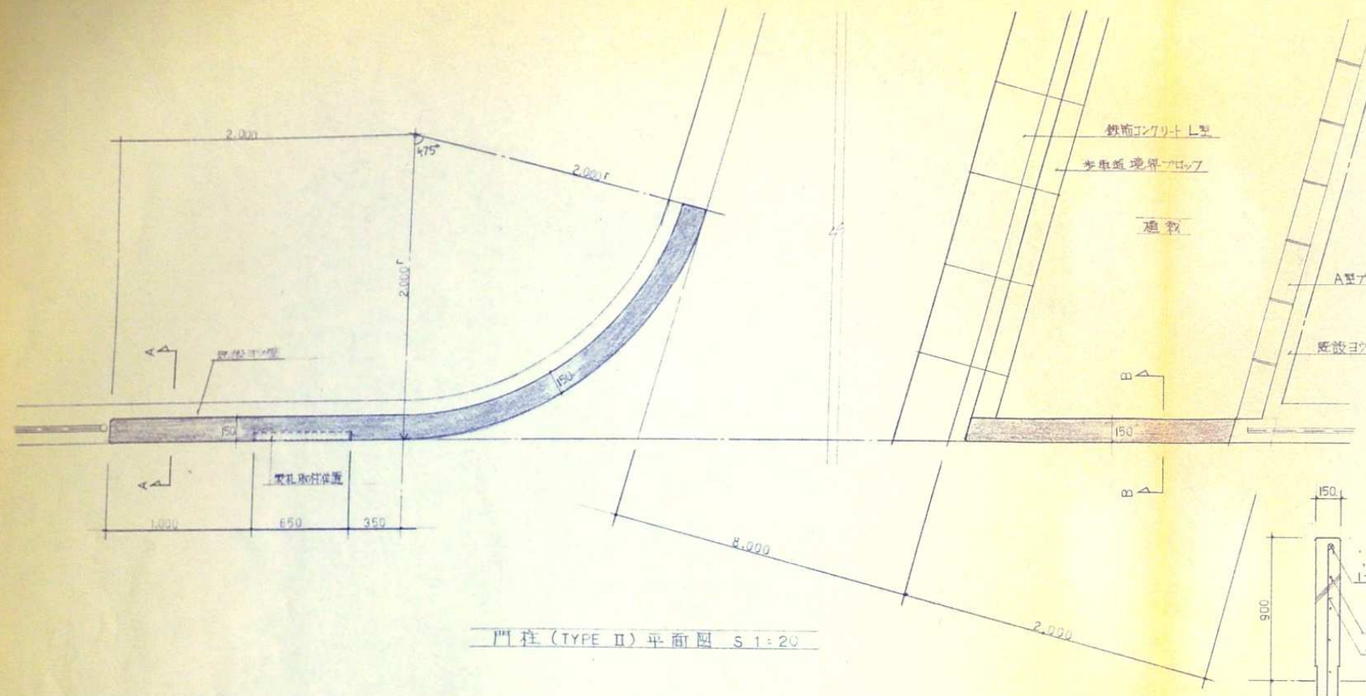
側面 立面図 S=1:100

注. 立面は80戸用を示す。

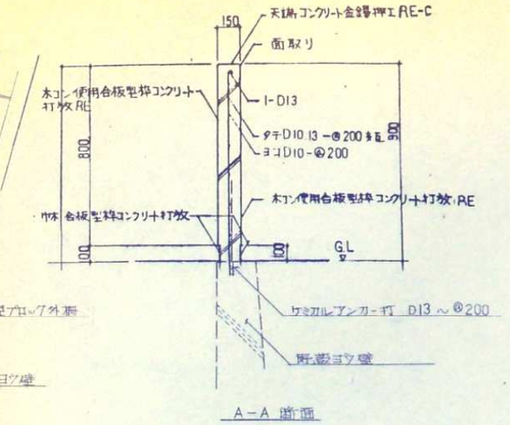
背面 立面図 S=1:100


2850
600
400
850
400
600
5600
1000
1200
1700
1000
1700
1000
1700
1000
1000
1000


平面図
平面図 1:30
ステンレス片引戸（外観図）
（東立型）
廃棄集積所（屋根付）断面詳細図
（水上側にわり易合）
（西側型）
廃棄集積所（屋根付）断面詳細図
注 前、左側板止めのビスもしくは 既製キャップ又はシールを施工
廃棄集積所 鉄骨工屋 共通事項
○ 鋼材 SS41、SSC41、STKR41、SR24 規格品
○ ボルト 普通ボルト
○ アンカーボルト M16 SS41 規格品
○ 鉄部 S.O.P
室内板 平立面図 1:30
注 配置図には 建物、道路 その他 主なものを記入する。
注 配置図には 建物、道路 その他 主なものを記入する。
室内板 詳細図 1:10
平成2年度
雇用促進住宅63 戸多賀・高木3DK 増築設計図
図面 廃棄集積所 室内板 詳細図
名称 縮尺
工作図No. 1
製作 年 月
雇用促進事業団 技術室
室長
主技術技術
※ステンレス引戸 H=1900 に変更
※屋根板は ステンレス鋼板 ヘアライン仕上げ

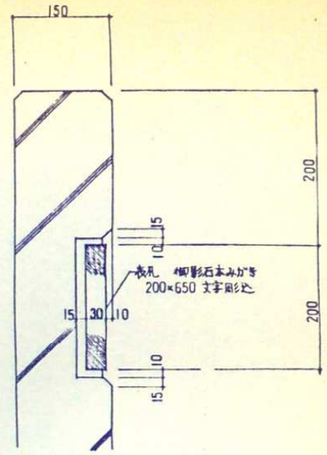


門柱（TYPE II）平面図 S 1:20

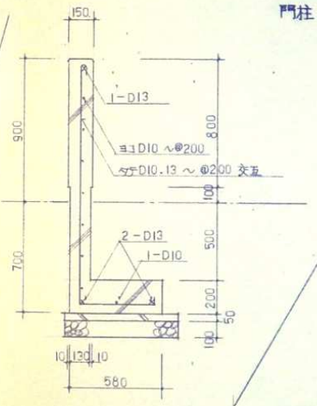


A－A 断面

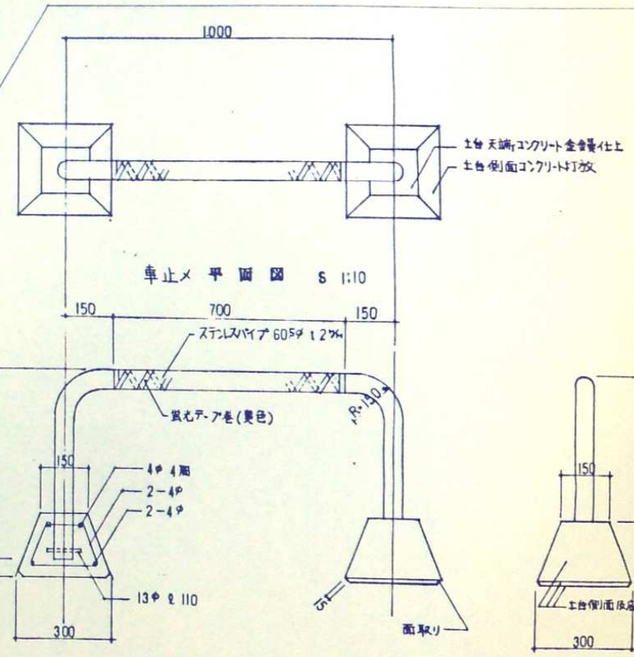
門柱 詳細図 S 1:20



表札取付 詳細図 S 1:5



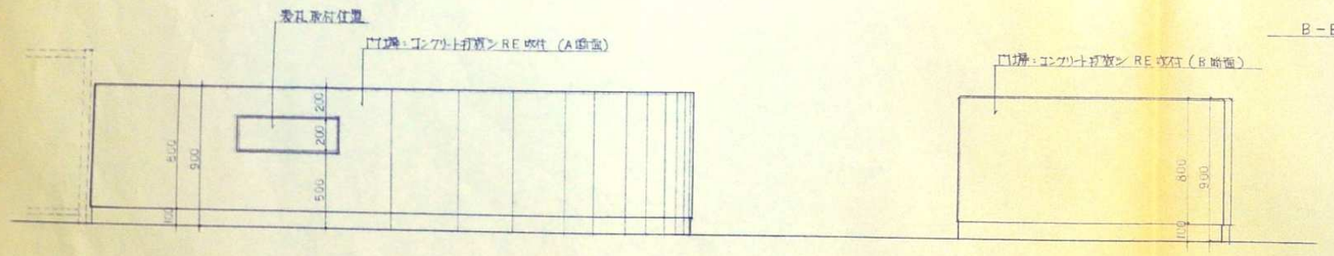
B－B 断面



車止メ 平面図 S 1:10

車止メ 詳細図 S 1:10

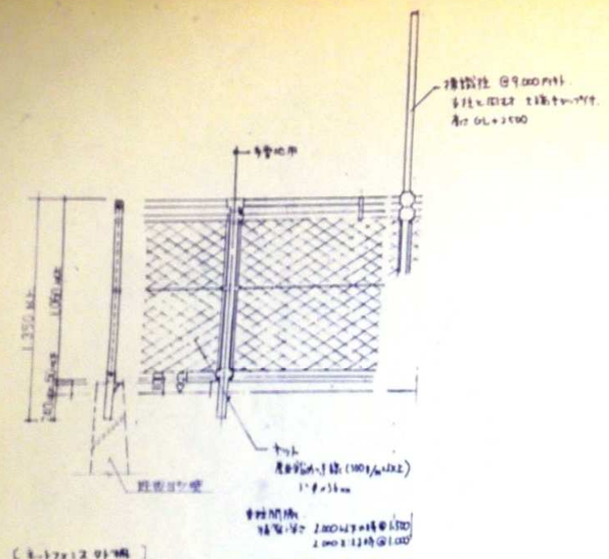
設置位置は布石置図による。



門柱（TYPE II）立面図 S 1:20

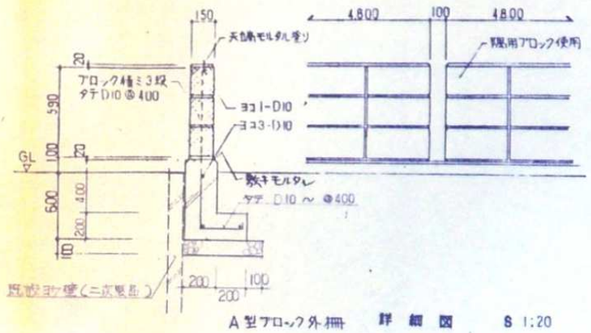
平成4年度

雇用促進住宅 3階多雪地冷3DK 標準設計図			図面番号 外3義 1
図面名称	門柱、車止メ詳細図	縮尺 1:20 1:10 1:5	製作 年 月
雇用促進事業団 技術室	室長	主技術技	技術技



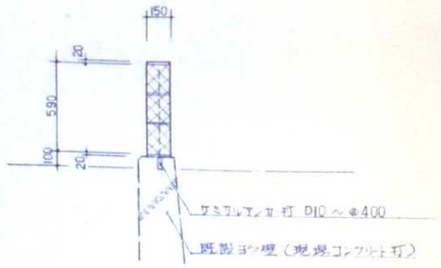
外柵詳細図　S 1:20

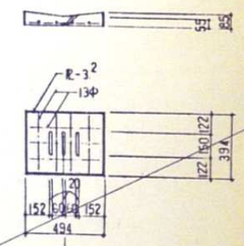
A型ブロック外柵　立面図　S 1:50

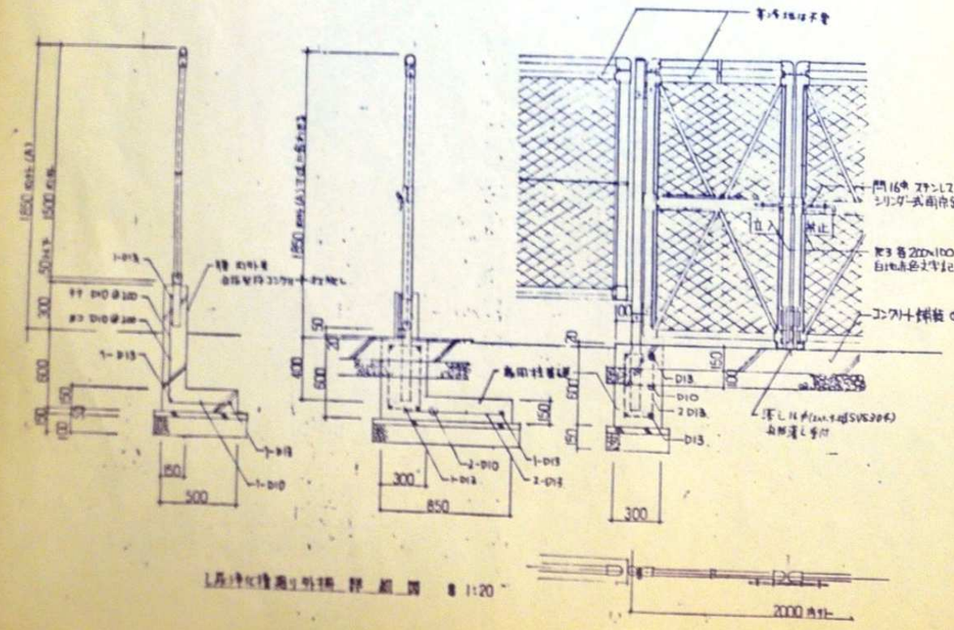


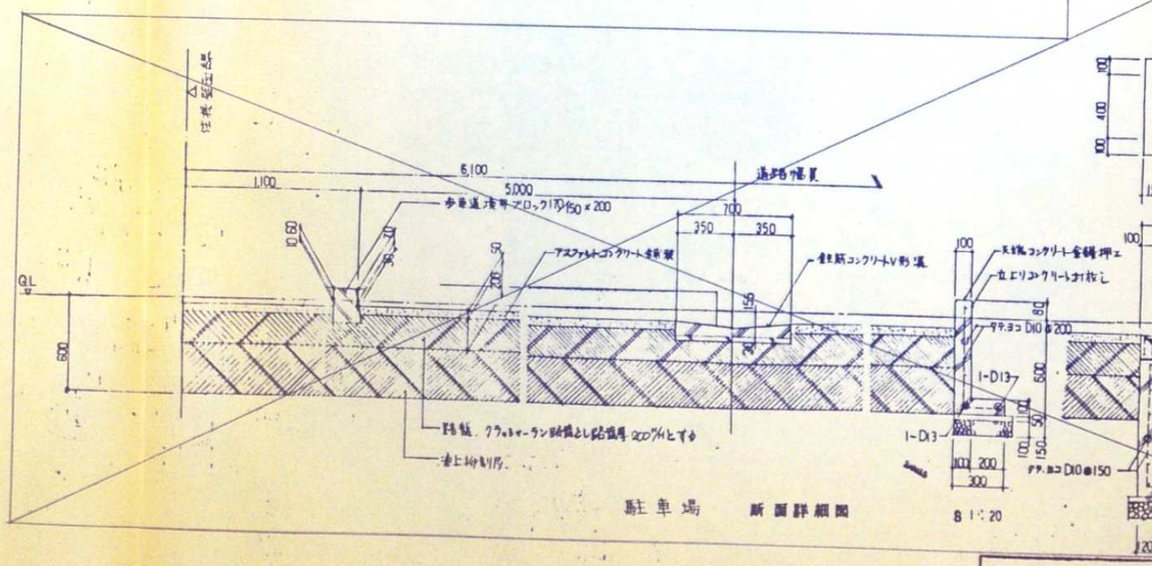
A型ブロック外柵　詳細図　S 1:20

注）埋設柱のある場合は左図に準じる。

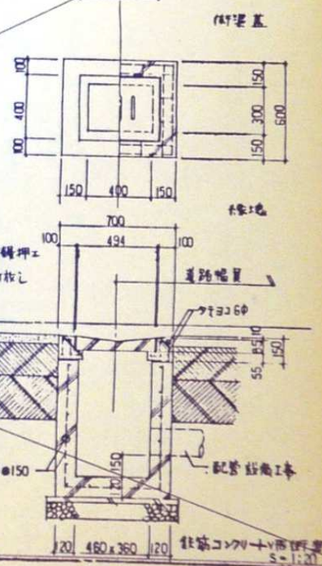




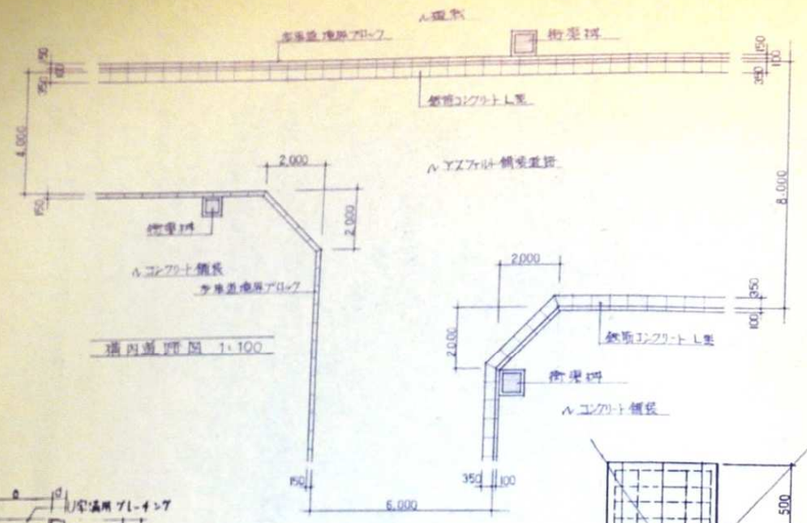


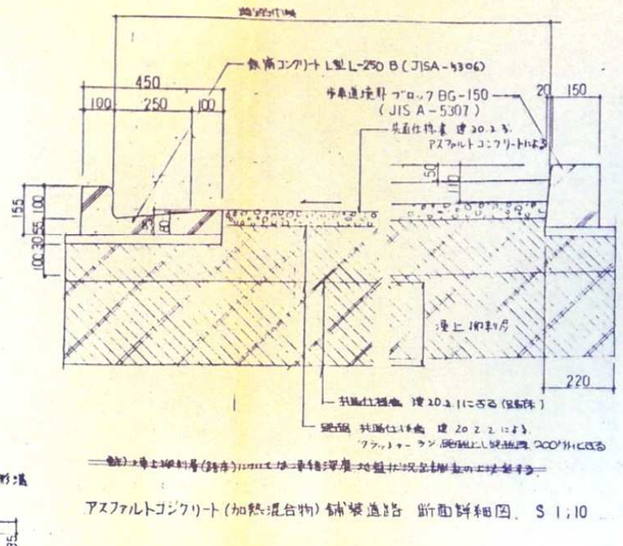


駐車場　断面詳細図　S 1:20

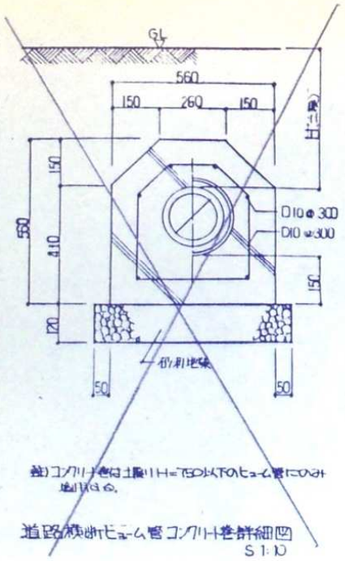


雇用促進住宅 3期多賀ヶ崎第3DK 標準設計図		図面番号 外構 2(1)
図面 外柵駐車場詳細図		製作 年 月
名称	縮尺 1:20 1:50	
雇用促進事業団 技術室	室長 / 主任技術員 / 技術員	

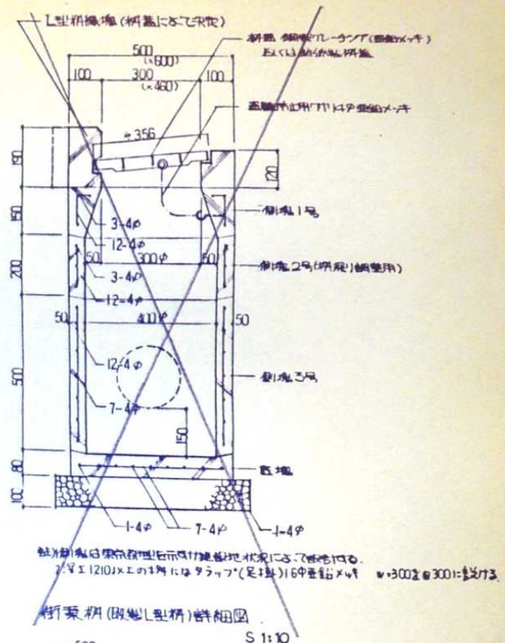




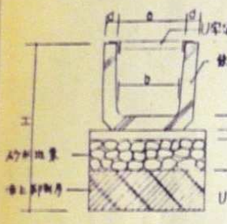
アスファルトコンクリート(加熱混合物)舗装道路 断面詳細図 S 1:10



道路横断ヒューム管コンクリート巻詳細図 S 1:10

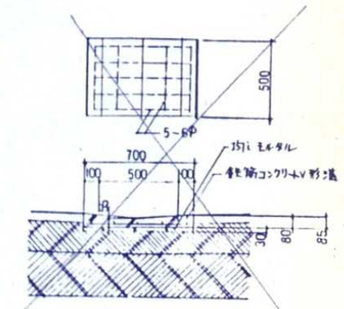


桝柔桝(現場L型桝)詳細図 S 1:10

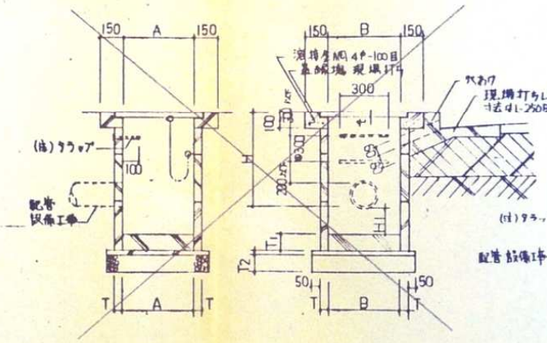


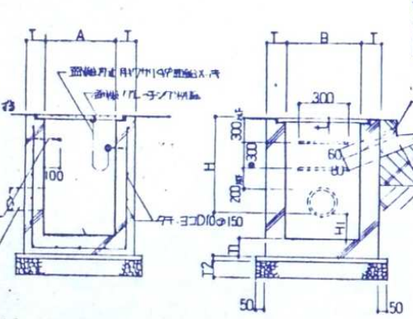
U字溝 断面詳細図 S 1:10

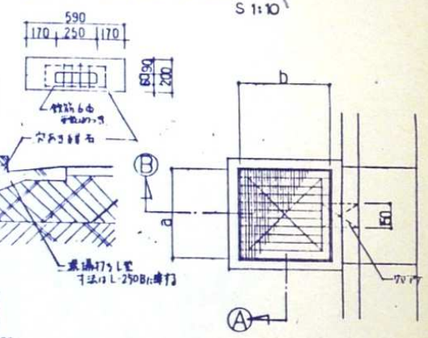
コンクリート U溝 (JIS A-5309) 寸法表									
記号	小カキ番号	内法	寸法 (mm) a	b	c	d	e	f	h
U-150	LF-150	150	152	140	150	30	35	35	50
U-180	LF-180	180	197	180	160	35	40	40	50
U-240	LF-240	240	242	240	245	45	50	50	50



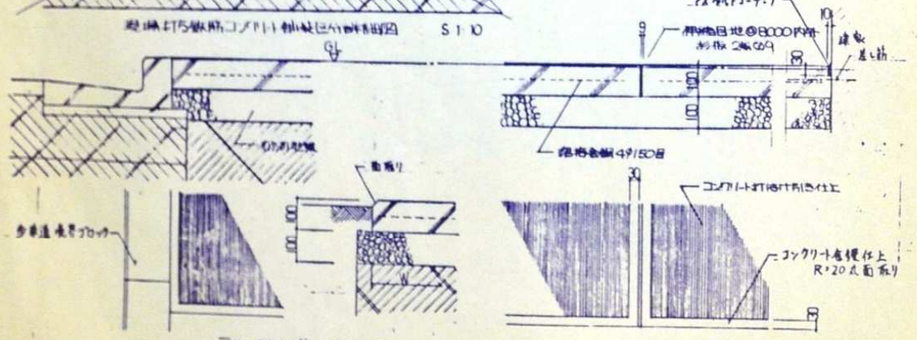
鉄筋コンクリートU型溝詳細図 S=1:20





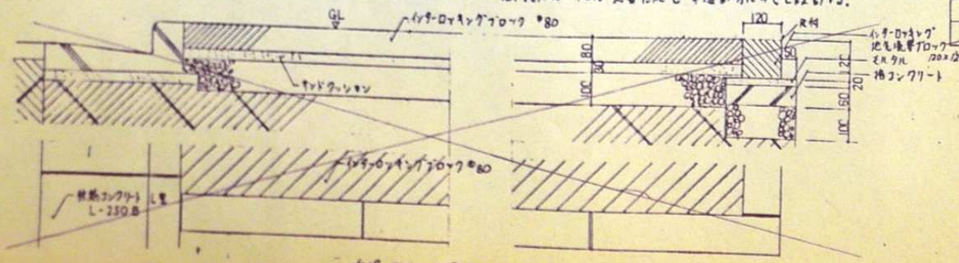


現場打ち鉄筋コンクリート桝機場詳細図 S 1:10



コンクリート桝地 伸縮図 S 1:10

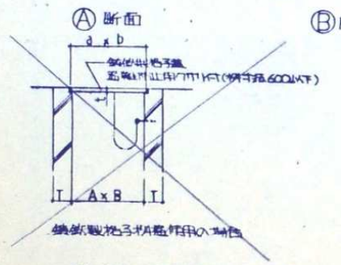
注)路床については 地質に応じ 別途計画に則じて施工する。

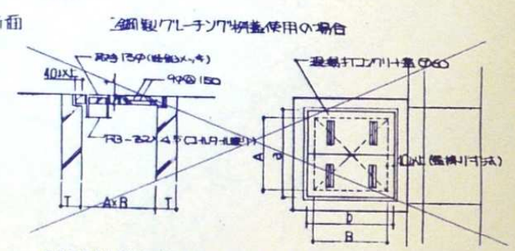


インターロッキングブロック桝敷 S 1:10

桝以上 [市販 既製コンクリート桝]

桝寸法 A × B	桝深さ H	側壁 T	底盤 T1	桝側底 T2	足掛り H1	蓋
450 × 450	600以下	50以上	100	120	150以上	現場打ち桝に準じ
600 × 600	610 ~ 1,200	50以上	100	120		
750 × 750	1,210 ~ 2000	—	—	—	—	





鋼製グレーチング桝蓋使用の場合

注)コンクリート蓋は2枚1組とし 枠につき2ヵ所 埋込金具付 ボルト固定する。

現場打ちコンクリート桝蓋使用の場合

桝リスト [現場打ちコンクリート桝]

桝寸法 A × B	桝深さ H	側壁 T	底盤 T1	桝側底 T2	足掛り H1	桝蓋グレーチング寸法 a	b	t	鋼製既製格子桝蓋 a	b	t	鉄筋コンクリート製桝蓋 a	b	t	配筋
450 × 450	600以下	100	100	120	150以上	550	550	25	500	500	20	530	530	60	9平ヨコ筋 D10@150
600 × 600	610 ~ 1200	100	100	120	·	700	700	25	650	650	25	680	680	60	
750 × 750	1210 ~ 2000	120	120	150	·	850	850	38				830	830		

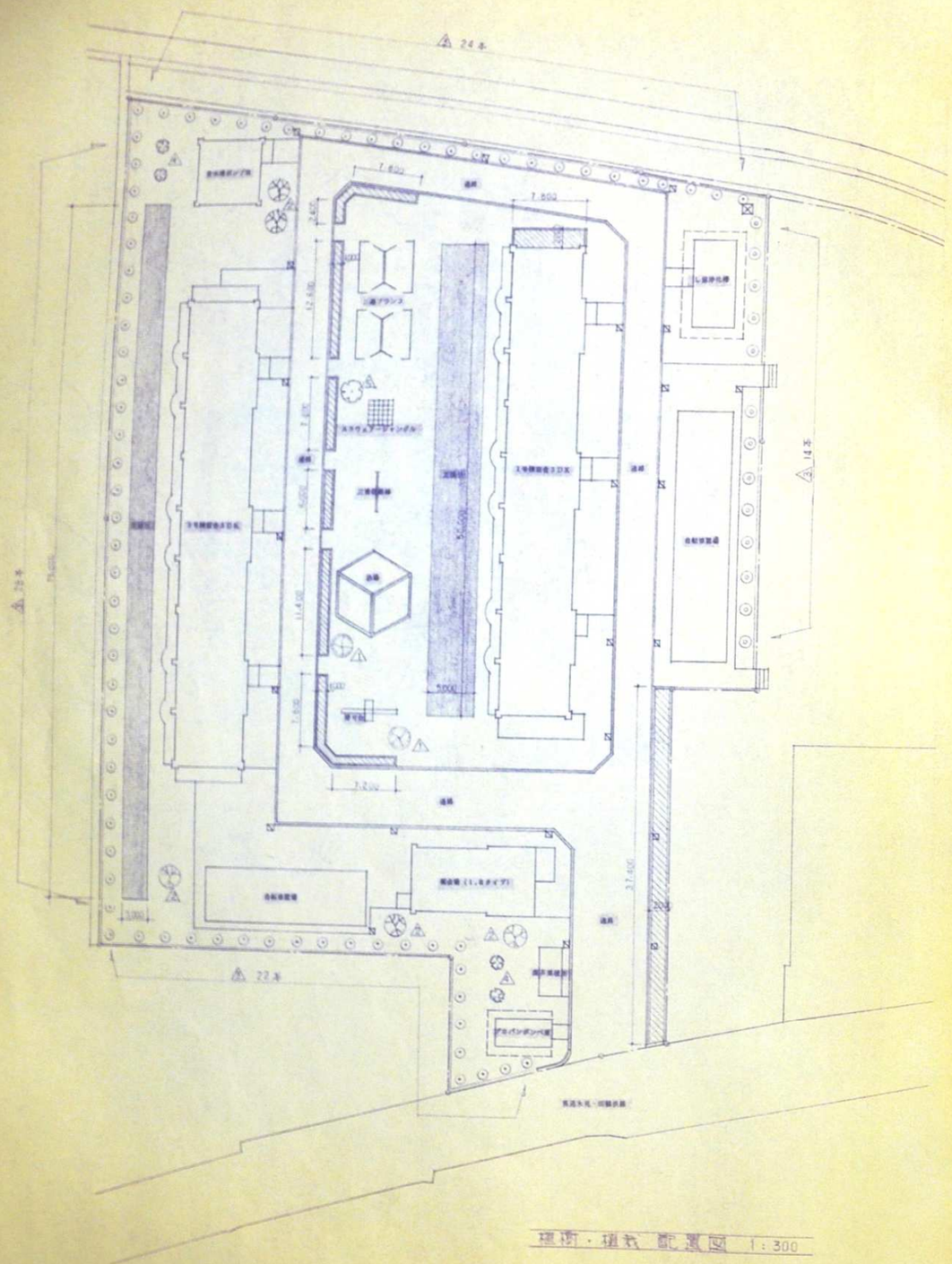
注)1. 上記桝蓋グレーチング寸法 及び 鋼製既製格子蓋は参考とする。
2. 寸法1210以上の桝については 別途 別図 にて詳細 ボルト 間隔@300に設ける。
3. 桝寸法600以下の鋼製既製格子蓋は 道路用 (T-14) とする。

備考. 桝蓋グレーチング 鋼製既製格子蓋は下記製造所 及びその同等品 又は同等品以上とする。
ナイガイK.K. K.K.タイル K.K.春日川鉄工所 第一橋材K.K. 伊東鉄工KK

街渠桝 詳細図 S 1:20

平成4年度

雇用促進住宅 3LDK 標準設計図			図面番号 外構 2(2)
図面名称	道路, 街渠桝 詳細図 縮尺 1:20 1:10 1:100		製作 年 月
雇用促進事業団 技術室	室長	主技術技官	技術技官



植栽・植木配置図 1:300

植栽の注意事項

イ. 樹種は地方・土壌に適した樹木を事業団仕様・監督官等とよく打合せのうえ採用する事。特に有害虫の発生、害々中間寄植とならぬような樹種はさける。

ロ. 風除支柱は三脚支柱を使用するのを原則とするが、植樹場所の広さ、樹形（直樹と傾斜する曲樹等）により、二脚鳥居、三脚鳥居、四脚十字鳥居支柱等により計画する。又樹高1,800以外で植樹周囲1000以外の場合は布掛竹支柱と有効に併用する。

ハ. 客土・肥料については下記と標準とするが、現況土壌により監督員と協議する事。

高木（根上1200、胸径300以上）の場合	客土（良質土） 0.6㎥/本	有機質肥料 0.6㎥/本	土壌改良剤 30 ㎏/本
（ 100～300）	0.4	0.4	20
（ 100未満）	0.2	0.2	10
低木の場合	0.03	肥料は適宜に応じて散布	
芝張の場合	目土 0.02 ㎥/㎡	厚さ300以内程度 黒土客土、土壌改良剤ピートバイト8～4-25程度混入	

肥料：おかやま1号 N5P4K3 程度

土壌改良剤：ピートモスA級 程度

ニ. 芝張は、こうらい芝とし、工法は平面・ゆるやかな法面共は目地張り、急勾配は全面張りとする。

尚、植木、植え込みについては行なわない。

ホ. 風除支柱 特記

1. 結束は麻紐別製品"15"とする
2. 樹名札には樹木名称、肥料名を「黒エナメル」で記入する。
3. 二脚及び三脚鳥居支柱の竹材、杭は樹木の形状等により必要な場合に設ける。
4. 木杭は防腐処理とし、埋込部の長さ記載した証明書を提出する。

ヘ. 工事完成時に下記のものを提出する事。

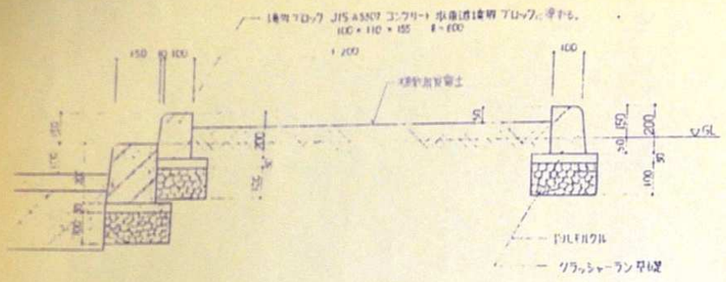
樹木用肥料　窒素質ガス　20㎏　15袋

芝生用肥料　〃　20㎏　6袋

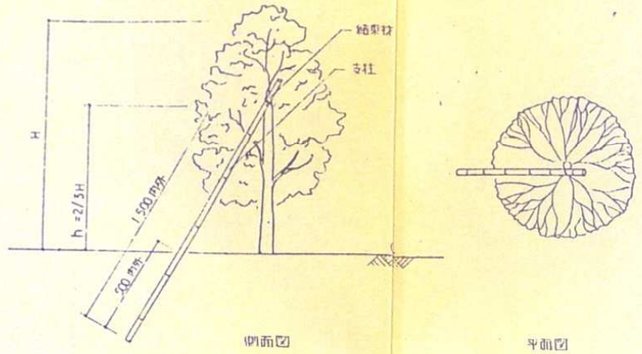
樹木リスト

番号	記号	名称	樹高 H	幅 W	根鉢 H1200 胸周	数量	単位	風除支柱形式 その他	客土	有機質肥料	土壌改良剤
1		コブシ	4,000	1,500	250	2	本	三脚鳥居支柱	1.2	0.6	30.0
2		モミジ	3,000	1,200	150	5	〃	三脚鳥居支柱	0.8	0.5	10.0
3		アベリヤ	500	300		88	〃		0.25		
4		ヒイラギモクセイ	2,500	1,000		4	〃	三脚唐竹支柱	0.8	0.4	6.0
5		サトザクラ	4,000	1,500	200	1		三脚唐竹支柱	1.5	0.8	30.0
10		サツキツツジ	300	400		156.0	㎡	㎡当り7株	㎥/㎡ 0.03		
11		芝張り（こうらい芝 平地）	厚さ30			475.0	〃	勾配 0.5			

雇用促進住宅鳥屋宿舎建築工事	
図面名称　樹木 植栽配置図	縮尺 1:—
(株)旭建築研究所	

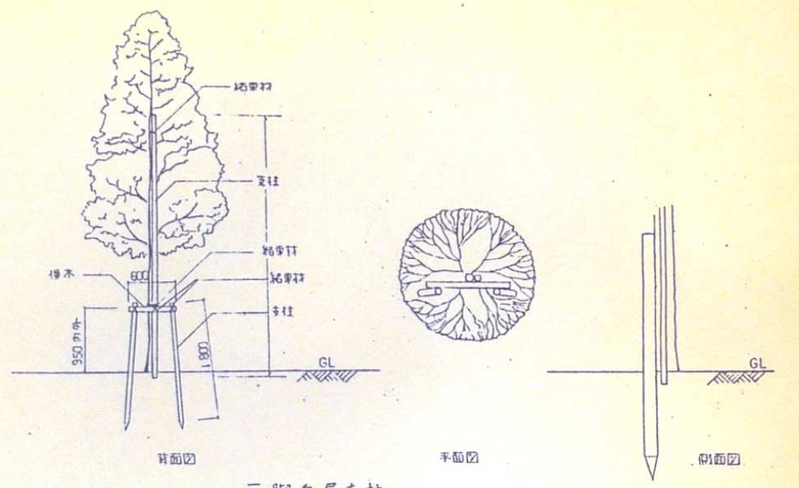


（さつき、つつじ 植込お手石） 詳細図 S=1/10



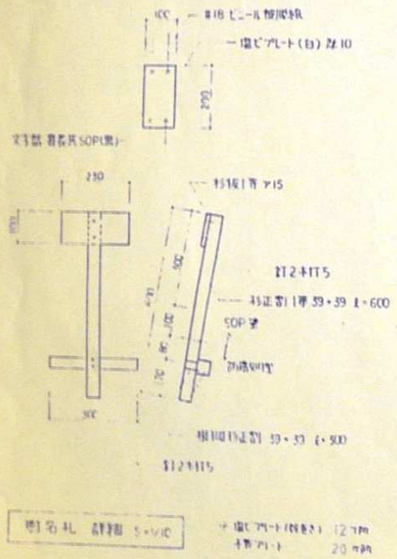
側面図　平面図

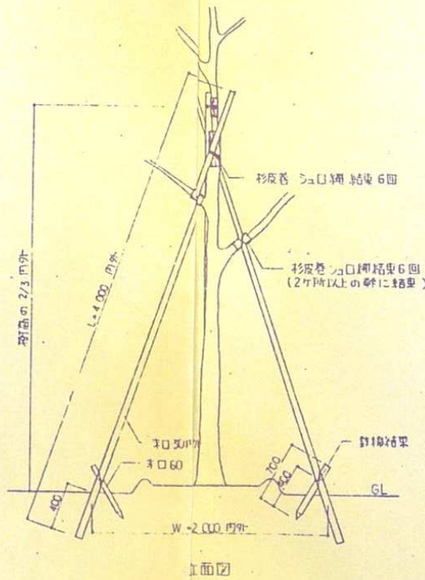
二脚唐竹支柱



背面図　平面図　側面図

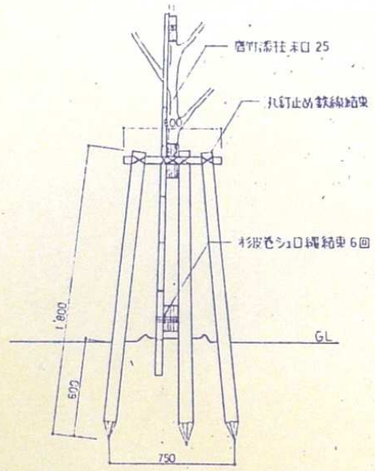
二脚鳥居支柱



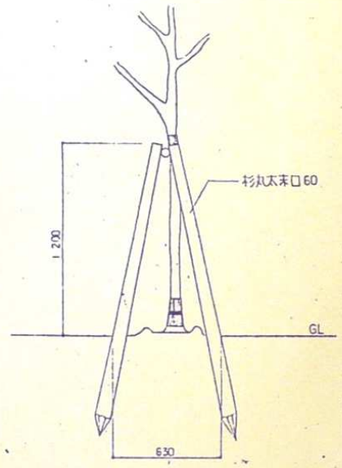


正面図

三脚長丸太支柱



正面図



側面図

三脚鳥居支柱

雇用促進住宅鳥屋宿舎建築工事	
図面名称　樹木　地被植栽工事詳細図	植栽 2 —
(株)浦建築研究所	